

パトモスの幻

ジェファソン インディアナ州 アメリカ合衆国

1960年12月04日夕刻

1 …ネヴィル兄弟がそれらの通知をしているときに、ムーア兄弟が先日、主の御霊について話していたと言っていたのですが…建物に入ってきました。彼は、「周りを見回すまで、携挙が来たと思うまで、そこはとても素晴らしかった。他の人たちがここにいるのを見た」と言いました。まだここにいるなら、私はまだここにいることを知っています。」ですから、時々、主の御霊が私たちに良くしてくれるのです。

2 建物の中にたくさんの友達がいることがとてもうれしいです。言及しようとするには多すぎます。私はたまたま気づき、ドアに入ってきました、カーペンター兄弟、妻と私と一緒に結婚した男。カーペンター兄弟、彼はこの教会で私たちにとって大きな祝福であり、ミニストリーの方法で私たちに祝福を与えてくれました。そして、ほとんどどこでも説教しています。そして、私たちは彼を他の多くの人たちと一緒に迎えられてうれしいです。

3 さて、昨夜私に与えられた別の質問があります：

ブラナム兄弟、マタイ25章の5人の愚かな処女は異邦人の残党として数えられていますか？ 私は5人の愚かな処女が救われていたことを理解していますが、大きな患難の時期を経験しなければなりません。これは正しいですか？ もしそうなら、彼らの最終目的地は何ですか？ 彼らはマタイ25:33と34で山羊から分けられた羊でしょうか？

私が...していることに因るととかなり良い神学者…[テープ上の空白のスポット—編集]彼らも残党であり、眠っていた乙女たちは黙示録で語られている残党であるとも考えてください。神の戒めを守り、イエス・キリストの証を持っている女性の種(子孫)の女性は商品を受け取り、それを置きます。さて、今、それは彼女が彼女をカットしているものです…または彼女のパターンを取り、彼女が望む場所に置くと、彼女はそれをカットするつもりです。そして、彼女が残したものはレムナントと呼ばれますが、彼女は自分の自由な発想によって特定の場所からそれを切り取ることにしました。しかし、残ったものはレムナントと呼ばれます。

さて、お気づきのように、5人の愚かな処女と5人の賢い処女がいました。それらはすべて同じ素材で作られた処女でした。しかし、神は選びによって、天地が創られる前に選びによって花嫁を選び、世界が設立される前に殺された子羊の命の書に彼らの名前を載せました。天地が始まる前に、神は彼の心の中で無限でした。

4 そして、私たちは時々「あらかじめ定められたもの」という言葉を使いますが、それは私たちが生きているこの教会時代の確かなハンガーです。彼らは確かにそれを信じていたので、それは殉教者の時代に使用された確かに素晴らしいものでした。しかし、それは今ではそれから離れており、律法的な考え、来たるべき教会での立法的な者達の教えに…それは良いことでした。なぜなら、リバイバルすらなくなるまで、すべてがイギリスでカルビンの的になり、ジョン・ウェスリーがそれにバランスをとるアルミニアン（注：原文ママ）の教義を説教してきたからです。神は常にそのバランスを取ります。

ですから、愚かな処女はランプに油が入っていない人でした。それは、泣き、泣き叫び、歯ぎしりするような外の暗闇に投げ出されたと私は信じています。そして、それや脚注を比較すると、それは再び大患難に戻ることでしょう。そして、私は彼らはそこに残り続けて大患難を経験している人たちだと思います。そして、それに入る時間があれば、そこにはかなりの学びがあります。もしあなたが…

5 さて、覚えておいてください。最初に、テープを聞いたときに、「これらのことは、私が正しいと信じている方法によるものです」と言ったのです。わかりますか？さて、もし彼らが間違っていたとしても、私にはわかりません。彼らが間違っているかどうかはわかりません。私は…そして、私は自分が信じていることしか言えません。そして、私は誰かの気持ちを傷つけようとしているのではありません。入ってきたときにそれらを脇に置いて、言われたことを取り出して検索し、それが本当に聖句にあるかどうかを確認する必要があります。それが最善の方法です。それから…なぜなら、私たちが今生きているような時代に、あらゆる種類のものによって何度も何度も情報が収集されているある国では、まあ、それは人々に例えば処女の領域にあるように、本当にそれを理解させるのは難しいのです。あなたは彼らに言います、彼らはそれを信じています、それがそのように続く道なのです。

6 しかし、今、人はこの考えに沿ってやって来て、人はこの考えに沿ってやって来るでしょう、そして私たちは約900と何か異なる宗派の教会があります、そしてそれぞれが互いに反対です(彼の教え)。誰かが間違っていて、誰かが正しい必要があります。だから今、その唯一の証拠は、それを聖書に戻すことです。ほ

ら、聖書にさせましょう。さて、多くの場合、人々は独自の解釈をします。しかし、人間の解釈をしないように、できる限り最善を尽くしています。そのまま読んで、「そのままである」と言ってください。

そして、私はいつも気づいていました。もしあなたが彼の言ったことだけを取るなら、それは聖書の中ですべてが正確にぴったり合うようになるでしょう。これは、ジグソーパズルを組み立てるようなものです。パズルを正しく組み立てるには、パターンを確認する必要があります。そうでなければ、私はいつも言いました。あなたの場面では、牛が木の上で草を摘んでいるでしょう。」つまり、正しく見えていないだけなのです。

7 そして、もし私たちがただ聖霊に任せたら…誰が聖書を書いたのですか？聖霊が人を動かし、聖書を書かかせました。つまり、聖霊がなければ、どんなによく教育されていても、それを理解することはできません。なぜなら、イエスでさえ、知恵や知識あるものの目からそれを隠し、学ぶ赤ん坊にそれを明らかにしてください。そのことを神に感謝したからです。そして、弟子たちのみんなは多かれ少なかれ文盲で無学な人々でしたが、一人だけ違ったのです、そしてそれがパウロでした。そしてパウロは、キリストを見つけるために今まで知っていたすべてのことを忘れなければならないと言いました。それで彼はコリントの教会に、「人の知恵となめらかな言葉では来なかった」と言いました。なぜなら彼らの信仰は人の知恵にあるのですが、彼は聖なる力とデモンストレーションで彼らのところに來たのです。御霊、彼らの信仰が神の言葉によると聖霊の働きにかかっているように。そして、それは私たちが今、とても近くにしようとしているのですというのは、その週が終わる前、またはその週が終わる前に、あなたはそれを見るでしょう、それはまさにそれがそうであったことであり、その小さな糸はずっと時代を超えて降りてきています。

8 役員会を少し高くして頂いたことを感謝します。それはより良く見えます。

さて、ああ、私たちは…冬の間ずっとそれがあつたらいいのにとおもいます。そうすれば、黙示録全体を手にとって、それをただ通り抜けることができます。そこにはとても美しい教えがあります。そして、私は覚えています。それは20年前か25年前だったと思います。教会がまだ新しくなったとき、私たちは一つ初秋に始まりました…そしてほぼ次の秋に向かって、黙示録を読み終えました。

今、私はヨブ記を取ったのを覚えています。ああ、ライト兄弟！とうとう女性が手紙を書いて私に尋ねるまで、私はずっとそこにとどまりました、彼女は言いました、「ブラナム兄弟、あなたは決してその灰の山からヨブを降ろすつもりはないのですか？」ええと、私は主張しようとしていました。なぜなら、その場所にすべてが詰め込まれた場所があるからです。主の御霊が彼の上に来た場所まで、そして稲妻が点滅し始めて雷が鳴り響くとき、御霊が預言者に来て、彼は主の來臨を見ました。そして、私はその家に車で行きたかったのです。それが私が彼を長い間灰の山に置いていた理由です。そして、私はそれが少し面倒になるかもしれないことを知っています。私も緊張します。誰かが何かで遊んでいるのを聞くと、彼が先に進んでそれを叩いたように見えます。しかし、多分神はその目的のためにその人を導いているのでしょう。

9 質問を残す前に、この残りの部分に戻りましょう。私はそれを明確にしたいとおもいます。これ…私はその残骸が神によって選ばれたと心から信じています。私—私は、神が天地が創られる前にレムネントを選んだと信じています。そして彼の「予知」によって持っています。言葉ではない…さて、あらかじめ定められたものを見てください。人々の間ではけちな小さな言葉だからです。分かりますか？しかし、神は、天地の創られる前に、彼の偉大な無限の心の中で、教会を選び、イエスを選び、教会を選び、そして最初にそれが最後に何であるかを予測することができました。彼は…彼が無限であるならば、彼が知らなかったことは何もありません。彼は、すべてのノミが地球上に存在すること、そしてそれが何回その目を打つことになるかを知っていました。さて、それはまさに…そしてそれがどれだけ獣脂を作るか、そしてそれらすべてが一緒にどれだけ作るかです。それは無限です、それは無限です。あなた—あなた…それを説明する方法はありません。そして神、それが彼であり、無限の神なのです。

10 ですから、あなたが気づいていたら、聖書は、終わりの時に、地球にやってくる反キリストは…と書いていました。

さあ、よく聞いてください！それが唯一の欠陥です…彼は私の中で何百万もの人を見つけることができました。しかし、先日、私たちの貴重な兄弟であるビリー・グラハムが、彼が先週の日曜日に説教したその注目すべき説教で、私は確かにそれがタイムリーなメッセージだと思いました。そして…しかし彼は「サタンは選民さえも欺いている」と言った。

いいえ、聖書は「可能であれば彼は選民を欺くであろう」と言っています。しかし、それは不可能です。なぜなら、神は天地が創られる前に彼らを選んでおられたからです。分かりますか？子羊…イエス・キリストは、

世の初めから屠られた子羊でした。神が彼の心にさえ置くと、彼が御言葉を語られるとき、それは決して変わることができず、決して換えることは出来ないのです。ほら、彼は一彼は一彼は無限の方で、彼の御言葉は実現するからなのです。

11 考えてみてください。今夜私たちが設定している地球そのものが、神の御言葉が顕かにされたものなのです。世界は、現れさえないものによって共に形作られたのでした。彼はただ「そこにあれ」と言われました、そしてそこにあったのでした。もし神がそれを語られるだけで創造物を造ることができれば、その神が病気の体を癒すのはどれほど簡単でしょう。ね、彼の御言葉。もし私たちが彼の言葉が何であるかを見る信仰を得ることができれば！私たちはかなり現世的で、心の中で非常に集結しているので…ああ、わかりません。私たちは非常に多くの教訓、これからのショット、そしてそれからのショットを持っていました、そしてそれは彼女がすべてねじれた場所に私たちを連れて行っただけです。しかし、もしあなたがすべてをゆるめることができたなら、彼が神であることを知るために戻ってきてください、そして彼の言葉は彼が失敗することができる以上に失敗することはないのです。そして、その御言葉が失敗するならば、神の失敗なのです。そして神がそこで失敗したら…彼は神ではありません。分かりますか？だから…そして、覚えて下さい、彼はここで一つのことやここで他のことを言うことはできません。彼は神になるために彼の最初の決意にとどまらなければなりません。だから、私たちはただ…

12 そして、彼は私たちにただ一つのことを尋ねました、彼が言ったことは真実であると信じることです、そして彼はそれを実現させるでしょう。ああ、なんて美しいんだ！あなたは自発的なことが起こることを期待していました。時にはそれはほんの少しの信仰を必要とします。それは奇跡を起こすことはありませんが、あなたがそれを握るなら、それはあなたを引き出します。ただそれを正しく続けてください。彼が言ったように、「からだね、すべての種子の中で最小の物です。」しかし、からだねは何とも混ざらないことに気づいたことがありますか。辛子を何かと混ぜ合わせることはできません。混ざり合うことはありません。そして、もしあなたが信仰を得たなら、不信仰や教会主義や教義と交差しないほんの少しの信仰、ただ神と一緒にいて、ただそれと一緒にいてください、それは霧の中をあなたを正しく連れて行くでしょう、すぐに連れて行ってください。ええ！ただその信仰にとどまりなさい。

13 さて、初めに、神が…聖書は黙示録の中で、「終わりの時に反キリスト…」と言っています。さて、これらの教会がすべて集まっているのを見てください。「終わりの時に、反キリストは、天地が創られる前から子羊の命の書に名前が書かれていない地球上のすべてのものを欺きました。」あなたの名前が命の書に載ったのはいつですか？我々は世が創られる前に、あなたはこの時代に聖霊を受けるように選ばれていました。

私はエディペロネットと一緒に参加しました：

私は自分の魂を心の休息できる避難所に固定しました、
疑わしい野生の海をこれ以上航海することはありません。
暴風雨が荒れ狂う嵐のように深く吹き荒れる可能性があります。
しかし、イエスにおいて私たちは永遠に安全です。

14 何者も私たちを引き離すことはできません(神は…守らずに彼の御言葉に戻るなど出来ないのです)。そして、もし彼が無限であり、ここであなたに聖霊を与え、彼がここであなたを失うことを知っているなら、彼はどのようなビジネスを営んでいますか？)、あなたがあなたの経験にだまされていないなら、あなたが聖霊を得ているならば。しかし、聖書が言っているのを見てください、エペソ人への手紙第4章30節、「神の聖霊を悲しませないでください。そうすれば、あなた贖いの日まで封印されているのですから」次のリバイバル？それは正しいですか？「あなたは贖いの日まで封印されています！」どのくらいですか？あなたの贖いの日まで。

あなたはボックスカーを取り、それをトラックに積み込み、そしてそれが完全に積み込まれたら…今、彼らはまだその車を閉じることができません、検査官が来なければなりません。そして彼は検査し、何かか緩んで揺れるかどうかを確認します。ボックスは…かもしれませんボックスカーは完全に搭載されている可能性があります、その場所が緩んでいる場合は、もう一度梱包する必要があります。そして、それが問題です。私たちの多くは聖霊を得ていません。検査官が来ると、彼はたくさんのゆるい場所を見つけます、あなたが見るように、彼はまだそれを封印しません。

15 先日、偉大な神学者が私のところに来ましたが、それは3、4年前のことで、彼は「あなたにお聞きしたいことがあります。」と言いました。「アブラハムは神を信じました、そしてそれは義のために彼に負わされました。」と言いました。

私は「それは正しいですね」と言いました。

「その人は信じる以外に何ができるだろうか」と言いました。

私は「彼にできることはそれだけだ」と言いました。

彼は言いました、「それでは、あなたはそれ以外のこの聖霊のものはどこに行くのですか？」さて、あなたは彼がバプテストだったことを知っています。そして彼は言いました—「あなたはこの聖霊と一緒にどこへ行くのですか？」と。言った、「もしその男が信じるなら！あなたが信じた瞬間、あなたは聖霊を受けました。」

私は言いました「いいえいいえさて、あなた—あなたは聖句を矛盾をさせます、聖書は彼ら自身と矛盾しません。わかりますか？パウロは彼らに、「信じてから聖霊を受けましたか？」と尋ねました。

そして彼は言いました、「まあ…」

私は言いました、「信仰の父アブラハムが与えたのは本当です…彼は神の約束を持っていて、神を信じました、そしてそれは義のために彼に負わされました、しかし彼は彼が彼の受け取ったしるしとして彼に信仰の印として割礼を与えました。」

16 さて、もし彼がまだ聖霊であなただけを封印したことがないなら、彼はまだ彼へのあなたの信仰を受け取ったことがないのです、あなたはいくつかのゆるい場所があったのです。わかりますか？信じられるかもしれませんが、ゆるい場所がたくさんあります。しかし、あなたがすべてのゆるい場所を正しく詰め込むと、彼はあなたの贖いの日まであなたを聖霊で封印します。それは、あなたが神に対して公言した信仰を神が受けたという神の確認です。

アブラハムは信仰を公言しました、そして神は言われました、「あなたが今あなたに…私があなたを受け取ったというしるしをあなたに与えます。」そして彼は彼に割礼のしるしを与えます。

さて、あなたがキリストを個人的な救い主として受け入れ、彼を信じてあなたの人生を清めるように頼むとき、そして彼が聖霊と共に戻ってきてあなたに聖霊のしるしを与えるとき、あなたはあなたの贖いまで封印されます。

17 これはこのボックスカー、緩んでいるなら…それがすべて一緒に詰め込まれ、彼らとその扉を閉めて封印をした後、それが目的地まで封印された後、あなたがその封印を破ると、鉄道会社はあなたに生涯罰金を科します。彼らは解くことはできません。その目的地まで封印されています。トラックに沿ったすべての人がそれを開いて中を見て、調べて見渡し、いくつかのものを捨てて、さらにいくつかのものを入れることができるわけではありません。いいえ、いいえ！

この教会は、まあ、その教義は「これは良くない、それは良くない」と言うでしょう。神があなたに聖霊を与えるとき、それは落ち着きます！あなたは自分がどこに立っているか、何が起こったかを知っており、この地上の旅の目的地である贖いの日までずっと封印されています。ああ、素晴らしい！それは、だれでもただ信仰を持ち、神を信じさせ、聖霊の力で立ち上がるだけであるべきです。

18 さて、聖霊を得なかったこれらの処女達、(覚えていますか?)彼女達に欠けていた唯一のものは彼らのランプの中の油でした。そうですか？聖書は、油は「聖霊」を象徴していると言いました。それが聖霊の象徴であるため、私たちが病人に油を注ぐ理由などです。さて、そしてもし聖霊が彼らに臨まなければ、彼らはそれを持っていませんでした。そして、彼が来ると、彼らは言いました…さて、油を持っていた処女達に、言いました…

ほら、彼らは教会時代に戻っていました。そこには善良な人々が何人かいましたが、芯が油に浸されていて、彼らは星の光の中にいませんでした。ほら、それは出てきていました。それは消えていました、彼らは彼ら自身を分離していました。パウロは彼女の時代、「彼らは私たちから離れ、信仰を持っていないように見えました」と言いました。見て、彼らから離れました、「彼らは私たちのものではなかったので、彼らは私たちから出て行ったのです。」さて、それはその初期のエペソ時代に始まり、今日この時代にまで下がっています。同じこと、それらの時代のすべて、彼らに起こったことはここでこれらの時代に重なりました。これについては、後ほど深く説明します。

19 さて、この処女が、泣き、泣き叫び、歯ぎしりがあった場所に入ったことに注目してください。

私の大切な愛する友人、これを言わせてください。なぜなら、通常この教会で、私がここに来るとき、私はただここに来て、癒しの礼拝を持ち、病人のために祈り、そして全国のどこかに出かけます。しかし、今がその時です、私はあなたに長い間言ってきました、あなたの良心をあなたのポケットに入れてください。今、私たちは望んでいます。私たちは最終日なので、来て、お互いに正直で真実になりたいのです。ええ!

さて、聖化の下であなたがた貴いナザレ派とピリグラムホーリネス派が失敗したところがあります。分かりますか?さて、あなたはイスカリオテのユダが同じ場所に生きていたことを知っていましたか?ユダは主イエスを救い主として信じ、主イエスを救い主として受け入れていました。そして彼も聖別されていました。ヨハネによる福音書第17章17節で、イエスが「父よ、真理によって彼らを聖別して下さい。あなたの御言は真理であります。」と言われたとき、彼は聖別されました。そして彼は御言葉でした。大丈夫!

マタイ10章で、彼らは病人を癒し、死者をよみがえらせ、悪霊を追い出す力を与えられました。そして彼らは国のあらゆる場所に出て行き、悪霊を追い出し、神を喜んで叫び、賛美して戻って行きました。そしてイエスは彼らに言われた、「悪魔があなたに服従しているから喜ぶのではなく、あなたの名前が命の書に載っているから喜ぶのである」。そうですか?そして、ユダは彼らと共にいました、ユダは彼らと共にいました、しかしそれはイエスが十字架につけられる1年6ヶ月前でした。

20 さて、ペンテコステ(聖霊降臨)に関して、ユダが聖霊などを受け取るために、彼は自分の色を示しました。彼一彼はイエスを否定し、彼の裏切り者になりました。そして、それこそがまさにその霊の源なのです。ウェズリー、ルターを通して、その教会を処女の生活(あなたが今まで出会った純粋で、清潔で、聖なる、素敵で、最高の人々)で聖化するまでに至りましたが、それに関しては…彼らが異言で話し、聖霊をうけとったとし、ナザレ派、ピリグラムホーリネス派、フリーメソジスト派は、「それは悪魔だ」と言います。そしてその時、あなたがたは聖霊を冒瀆し、永遠に自分を締め出す時です。「人の子に敵対する者は許されるが、聖霊に敵対する者は決して許されない。」

21 覚えておいてください、すべての弟子たちは異言で話しました。イエス・キリストは異言で話し、十字架で死にました。うーん。それで、ここで彼らに対処できない場合は、ここで彼らと友好的になりましょう。あそこはどうですか?彼らに…これらが悪魔なら、彼らもそうでした。それであなたは彼の本性を現したところがわかりますか?その処女、残りの人たちと同じようにきれいな、聖い人生がやって来ます。聖化を本当に信じていた昔ながらのナザレ派、ピリグラムホーリネス派の教会を取り上げます。あなたは彼らの生活に指を置くことはできません。彼らができる限り聖く生きようとしていました。私たち全員がそのように生きることは良いことです。そうです、あなたはそうしなければなりません。

22 今、私たちはペンテコステ派でなりすましとしての多くの人々がいたことを知っています。それは本当です。しかし、あなたが偽ドルを見ている限り、あなたはそれが良いもの、本物のものを見て作られていることを知っています。そうです。そして、そこには、本物の聖霊、異言で話し、しるしや不思議を示す本物の聖霊があり、それはペンテコステが下がってからずっと続いています。したがって、なりすましもなければならぬのです。本物の女性を輝かせるには、良くない邪悪な女性が必要です。日光が輝いていることを示すために、私たちは夜に黒い暗闇を持たなければなりません。そうです。そして、あなたは健康を楽しむために病気になる必要があるのです。そして、それは賛否両論の法則です。そしてそうなのです—そしてそれは時がある限り、常にそうであり、そしてこれからもそうでしょう。

さて、それで、教会がそれ自身を上を動かしたところがあります。

23 さて、イエスはマタイ24章で「終わりの時に」、「もし出来れば、選民をも欺くほど、その二つの霊はとても似ている」と言いませんでしたか?うーん。しかし、天地が創られる前から選ばれた者には永遠の命があります。永遠の命、あなたはそれを取り除くことはできません。それは神がそうであるように永遠です、あなたは神が存在をやめることが出来ないのと同様にもはや存在をやめることはできません。そうなのです。あなたは神の一部であり、神の息子と娘であり、人生は変えられ、神の一部であり、永遠の命を持っているからです。ああ、私は彼が大好きです。そうではないですか?

24 さて、誰かがここに小さな質問をメモして私にくれました。今それに、答えるのにそれほど時間はかかりません。そして、あなたが小さな質問をするたびに、私はできる限りそれを答えることに最善を尽くします。

しかし、これは重要な質問でした。教会で女性が証言したり、歌ったり、口頭でメッセージを伝えたり、メッセージや予言を解釈したりすることが間違っているかどうかを知りたいのです。

いいえ、それは間違いではありません。それが正しい場所にある限り、それは…です。分かりますか?教

会は秩序立てられていて、その時だけ…それを行うための本当の真実な方法は、異言や物事で話す人々のためのものです。彼らのメッセージは説教壇からのメッセージの前に与えられ、その間は決して与えられません。パウロがそこで語ったように、聖霊が一度に一つの場所から移動するからです。しかし、女性には予言の賜物があり、異言と解釈の賜物があり、説教者である以外のすべての賜物が与えられます。彼らは説教者ではありません。彼らは教会で説教したり、その場所を取ったり、教会で教師や何かになることを禁じられています。しかし、賜物に関しては、女性はそれらすべてを持っており、第一コリント人への手紙12章によると、これらの9つの霊的な賜物の1つまたはいずれかを占めることができ、彼女のメッセージがその場所に出るはならないという束縛を受けていません。お分かりのように、各メッセージはその時を待つのです。

25 異言で語る人がいて、解釈する人がいない場合、解釈する人がいる時まで彼に黙っていてもらいましょう。分かりますか？そして、これらのメッセージは通常、集会の直前に出されます。それから預言者…または新約聖書の預言者である説教者、彼が出て来るとき、神は彼を通して動き始めますね。その後、彼が終ると、メッセージが始まります。その後、直前に。それは常に秩序があります。しかし、女性には権利があります。

26 次に、これに答えるのに少し時間がかかります。見出しを読みます。

1つの聖書の翻訳された3つの信仰が始まります。ワシントン、10月15日。チームとして働いているカトリック、プロテスタント、ユダヤ人の学者たちは、待望の正典聖書であることが証明されるかもしれない聖書の新しい共同翻訳を始めました。

ここで、発表する前にもう少し勉強したいと思います。言い換えれば、あなたは私たちが話していること、これらの事柄が一緒になって獣へのイメージを形成するという、これらの事柄が最近起こると聖書が言っていることを正確に理解しているのです。まさにその通りです。彼らはそれを試し、それに取り組んできました。そして今、彼らはそれを提示するという今までで最高の機会を得ました。なぜならそれは彼らの手にちょうど良いからです。そして、それが私がこれらの予言的なメッセージをもたらすまさにその理由です。なぜなら、それはタイムリーだと思うからです。

27 そして、毎晩戻ってくる可能性のある人がいたら、早めに始めて早めに出られるようにします。そして、私が主題を終わらせなければ、私は翌朝発表します。今夜の9節から20節までの19節が終えられない場合は、朝の10時に開始します。礼拝の終了時に、どのように対応しているかをお知らせします。

そして、明日の夜、エペソの教会で、7つの夜について話し始めます。エペソ、エペソ教会時代。そしてメルナ。とペルガモ；とテアテラ；とサルデイス；とフィラデルフィア。そしてラオデキア、来週の日曜日。

28 そして、これらの素晴らしい宝石が道に置かれていることを知っているのも、その時まで私の手をそれらから遠ざけるのはとても難しいです。そこにいる彼らを見て、人々の間で御霊が養っているのを感じているだけで、私は本当に素早く飛び込んで、彼らについて何か言いたいと思うようになります。しかし、ただ彼らを控えて、彼らの時代と彼らの時に置く必要があります。ですから、夜に来られなかった場合は、テープかそれをキャッチできる方法を必ず入手してください。私はそれがいたるところに行つて欲しいからです。そして、私がこれをしたのは、聖霊に導かれてそう思うように感じたからです。それが私がそれをしている唯一の理由です。そして私は、もしそれが教会に役立つとは思わなかったら…そして、この時代に、私たちがこれらの集会を開くことができない時が来るようになることを忘れないでください。私たちがそれを行う時間がある間に、あなたは今それをしなければなりません。ほら、今、彼らがこれをいつ止めるかはわかりません。

29 そのため、教会間には団結があり、教会は団結して、教会評議会の長を形成します。この教会には、すでに大きな国連の建物があり、すべての宗派がその中にあります。そして、あなたはそれらの宗派のどれかに属するか、追放される必要があります。そして、それは私たちが本性を示し、当て推量ではなく、主がこう仰せになれるというあなたの立ち位置を知らなければなりません。小さな教会は常に少数派でした。それは…聖書を一掃する赤い糸のような小さな糸ですが、それは常に教会です。そして、それを覚えておきたいのです。

30 もう一度読む前に、小さなコメントです。今朝、私たちはイエス・キリストの啓示の至高の神については話しました。彼は今朝、神が彼を至高の神として私たちに明らかにしてくれました。(過去のあるいは未来ではなく、今おられるあつてある方として)そして、私たちは黙示録のこの第一章で、黙示に気づきます。何の啓示ですか？イエス・キリスト。彼がここで彼自身を最初に明らかにしたことは何ですか？天の神。三位一体の神(3つの神)ではなく、一人の神。一人の神、そして彼は最初の黙示録でそのように彼ご自身を明らかにされているのです。そして、間違いがないように、第1章で4回話します。あなたが最初に知っておくべきこと

は、彼は預言者ではない、彼は神のジュニアではない、彼は二次的な神ではない、彼は神であるということです!彼は神です。そしてそれゆえに黙示録が出て来ました、そして私達は彼の存在の彼の7倍の人物を得る間、今夜もそれを続けます。

31 そして、ああ、私たちがこれらの言葉を教えるとき、神が私たちを助けてくださいますように。私一私一歴史的な観点からそれを研究しましたが、インスピレーションを得るためにこの説教壇に入るまで待ってください。私たちはキリスト・イエスの天的な場所に一緒にいると感じ、あなたの霊、あなたの部分、あなたの上にある火のなめ(聖霊)が別の場所に来て、別の場所に来ると感じているので、それはの偉大な体を燃やします、神と共に燃え上がらせる、そして啓示があるところが…

32 さて、私たちが話していることは、この質問は私に尋ねられました、「女性は…などでしょうか?」それがまさに最初に教会を混乱の中に始めた理由です。彼らは聴衆からすべての厳粛さを取り、それを説教壇に置いていました。しかし、神は聴衆の神です。彼はすべての人間の中で働き、彼が入ることができるすべての人の心の中に住んでおられます。彼はそれらの賜物を受けている人々を見つけ、彼らを通して働きます。さて、悪魔が1つのことで彼らを捕まえることができない場合、彼はやって来て、何もない大きな雑多な寄せ集めを作り人々はそこに入らせようとするのです。パウロが言ったように、「あなたが一緒に来るとき、あなたがすべて異言で話していたら、無学な者が入ってきた場合、彼は「あなたがたは狂っている!」とは言わないででしょうか。愚かなだと?」誰かがこれやあれやを無秩序に異言を語るとすると、すべてがうまくいきません。しかし、彼は言いました。「それから、人が預言して心の秘密を明らかにすると、彼らは「本当に神があなたと共におられる」と言うでしょう。」しかし、啓示によって異言で話し、それを解釈し、教会の徳を高める何かを与えると、教会全体がそれによって特が高められるのです。私たちが何も知らない言語で話し、神が話す何か、それをある人に与え、別の人によってそれを解釈し、それが言われたとおりに起こる特定のことを言うなら、あなたは主の霊があなたの方の間におられるのです。そして、ああ、そのために努力しましょう、友の皆さん。さあ、その火を燃やし続けましょう。

33 さて、私たちが…この偉大な聖書の規範を開く直前に、私たちが祈っている間、立ち上がって数分間だけ姿勢を変えることができたなら、それは頼み過ぎだとは思わないのですが。

主イエスを死からよみがえらせ、(1900年後)間違いのない天の神として私たちに提示して下さった全能の神、私たちは毎日の歩みの中でこれと私たちと一緒におられる神のご臨在に感謝します。そして、世界が何をすべきかわからないこの混乱の時間に、彼らは地面に穴を掘り、具体的に自分自身を強化していることを知ってとても幸せですが、神よ、彼らは神の怒りから隠すことはできません。唯一の救済策があります。主よ、私たちはそれを受け入れてとてもうれしく思っています。「私が血を見ると、私はあなたの上を通り過ぎるでしょう。」ああ、今夜、栄光の中に立って私たちの告白によりとりなしをして下さる大祭司、神の子羊の血のその十分な保護を今夜私たちがどれほど嬉しく思っているだろうか。私たちは今夜、彼が私たちと一緒にいてくださることをとてもうれしく思います。偉大なる語りて、偉大なる聖霊、偉大なる機能を与えるから、偉大なる命を与える方。

そして今、主なる神様、私が今夜この屋根の下でこれらの人々をここに呼び集めました、そして私たちは教会またはその一部としてここに集まったので、私たちはこの幕屋の名前や個人の名前ではなくイエス・キリストの名において集まっています。彼の体と心を支配し、彼を支配した御霊が今夜私たちの中に来て、みことばを解釈し、みことばを説教し、私たちが彼を待つ間、それを私たちの飢え渴いた心に与えて下さるようにしようではありませんか。私たちはそれを彼の名によって、そして彼の栄光のために求めます。アーメン。(お座りください。)

34 さて、聖書を持っている方は、黙示録の第1章を開いて、9節から始めましょう。鉛筆と紙に、そして進むにつれて、少しの日付などを話していくようにします

さて、これは実際には…今朝はもっと説教の形ですね、黙示録の神の上に土台を置いていました。神はキリストの内におられたことが明らかにされています。何人がそれを信じていますか?神がキリストの中で明らかにされ、エホバがキリストの中で明らかにされました。さて、神はどこで明らかにされるのですか?彼の教会で、彼の民と共に、私たちの中で。同じ霊、同じ業、同じ現れ、同じ愛、同じ許し、同じ寛容、優しさ、忍耐、平和、憐れみ、キリストにあったすべてが教会にあります。覚えておいてください、これを心に留め続けて下さい:神がキリストに注がれたすべて(彼は神格の完全だったのです)、そしてキリストが教会に注がれたすべてです。私たちの上におられる神、私たち共におられる神、私たちの内におられる神。三位一体の神、神は3つの異なる役割を持って現れました:父、御子、聖霊。

35 黙示録は、彼が3つの神ではなく、3つに切り刻まれていないことを示しました。しかし、彼は父権の時代に神であった唯一の神であり、子としての時代にも神であり、聖霊の神権時代でも同じ神なのです。3人の異なる人でも、3人でも、3つの人格でもありません。彼は一人、一人の人格です。あなたは人でなければ人格になることはできません。「彼は3人ではなく、3人の人格だ」と言う人もいました。それを分割することはできません。なぜなら、彼が人格なら、彼は人だからです。人格を作る人でなければなりません。ですから、彼は一人、一人の人格です。昨日も今日もいつまでも変わることがないのです。アルファ、オメガ；過去の彼、今の彼、また来るべき彼。ああ、彼はただすべてなのです。それを愛しているのです。

36 彼の性質、彼の人生、彼の業を見てください。それは、彼の時代と同じように、ここでこの幕屋にも現れるはずです。(これを偏見で言っているのではありません。神はそれをご存知です。)ここだけでなく、世界中で。そのことを喜んでいいるのです。それから、私たちは同じ霊が私たちの中にあり、一緒に動き、ここにいることを示しているのです。どこに立っているかを知っています。それは私たちではなく、彼です。私たちにそれらのことをすることはできません、それは神なのです。それに加えて、科学の世界では、彼は自分の写真を撮ることを許可しました。私たちと一緒に、私たちの中で、私たちの周りで、私たちの上に、私たちを通して、私たちの内外で働いています。ああ、なんて素晴らしい!

彼らはかつてある小さな歌を歌っていました:

私が燃える火の茂みの中でモーセに話しかけたあつてあるものです。

私は明るく輝く明けの明星、アブラハムの神です。

私はシャロンの薔薇です。ああ、どこから私が来たと言いましたか?

あなたは私の父を知っていますか、それとも彼の名前を言えますか?

ああ、あなたは私が誰だと言いますか、あるいはどこから私が来たと言いましたか?

あなたは私の父を知っていますか、それとも彼の名前を言えますか?

私はアルファでオメガ、初めであり終わりであるもの。

私は創造物全体であり、イエスがその名です。

37 ああ、なんて素晴らしいことでしょう、啓示!さて、覚えておいてください、あなたは神学者を通してそれを得ることができません、それはそのようには来ません。それは啓示としてのみ来るでしょう。イエス・キリストの御名を用いた水のバプテスマは、啓示として与えられたものだけが受けられるのです。イエスと神が同じ方であるということは、啓示でのみ理解することができます。聖書全体は啓示の上に成り立っています。教会全体は啓示の上に建てられています。マタイ17章で、「私が言ったのは、「この岩(霊的な啓示)の上に教会を建てるからです。地獄の門はそれに打ち勝つことができません。」と言っています。私たちは、マルチン・ルターの時代に至るまで、カトリック教会の外で「父、子、聖霊」の名でバプテスマを受けた人がいた場所が、どこでも、歴史や聖書を見せてくれるように誰にでも挑戦しました。それからプロテスタント教会、それは…

38 そして、すべての悪…私たちが教会の時代に入るとき、聞いてください。その最初の教会にあったすべての悪は、次の教会と重なりました。最終的にそれが終りの時に完全な使徒が終わるまで、ただ降り続けました。すべての悪は、始まったすべての小さなイズム(主義)で、各教会をひっくり返し続けています。創世記でのように、ブドウの木は成長し始め、教会を通り抜け、終わりの日に出て来るのです。聖書が「その日を逃げるのが出来る人々は幸いである」と言ったのも不思議ではありません。はい、それはこれらすべてのことから逃れるのです。

39 さて、神に…私たちが黙示録について話している間に、あなたにこの啓示を与えるように頼んでください。なぜなら、それは啓示によってのみ知ることができ、あなたは啓示によってのみ救われることができるからです。あなたは知的にそれについての知識を持っていますが、それがあなたに明らかにされるまであなたは救われることができません。「聖霊によらなければ、なんびともイエスをキリストと呼ぶことは出来ない。」それが聖書が言っていることです。聖霊を受けるまで、誰もイエスがキリストであると言えません。彼は「牧師がそう言っている、聖書がそう言っている」と言うかもしれません。それらは真実です。「教会がそう言っています。」それは本当です。しかし、聖霊があなたにそれを明らかにし、彼があなたの中に入るまで、あなたは自分自身を知りません。「聖霊によらなければ、なんびともイエスをキリストと呼ぶことは出来ない」知識にでも知性によるのでもありません。

40 彼らがどのようにして聖書を作るのか…ユダヤ教、カトリック教徒、プロテスタントが昼と夜のように異なっているときは、それを絞って、それをユダヤ人、カトリック教徒、プロテスタントに合うようにするさせているのです。ユダヤ人はそれよりもよく知っていると思いましたが。多分それが来るのはちょうどその時だと思いません、そこではすべてがこの大きな使徒職に行かなければなりません。ですから、すべてのことを覚えておいて

ください。私たちはそれを止めることはできませんが、私たちにできる唯一のことは、そこに光を放ち、殉教者として身をゆだねて立ち去ることです。それが私たちがそれを行う唯一の方法です。しかし、多くの人がそれをしなければならぬでしょう。そして、それが聖書の設定方法であり、私たちが取り組むことです。私が見ないなら、私はそれに入らぬでしょう。

41 さて、黙示録の初めに書かれていることは、それがイエス・キリストの啓示であるということから始まります。さて、イエス・キリストは全能の神です。私たちはそれを知っています。何人がそれを信じていますか？「アーメン」と言ってください。[会衆は「アーメン!」と言います 一編集]彼は全能の神であり、彼には一つの名前があります。その名前はあなたが救われうるために天が下に与えられた唯一の名前、イエス・キリストです。「なぜ彼らはプールでそれを恐れているのですか？」それは私が不思議に思うことができないものです。ええと、分かりますか？それは、その霊がスメルナの教会時代にそこに戻ってきたからです。そして、その偉大な暗黒時代に自分自身を織り込み、それを教義とし、この終わりの時にそれとともに出てきました。さて、今週見て行く歴史と聖書を見てください。それがどのように、彼らに物事をもたらすのかを見てください。

42 さて、次のこと。それはキリストによってヨハネに、天使を通して、彼の(何?)教会に与えられ、彼の教会にそれを明らかにするために与えられました。そして彼の手にある七つの星は七つの教会の七人の使者たち(メッセンジャー達)でした。そして、メッセージを持つすべての人は、初めに始まっていた同じ真のメッセージを持っていることになるのです。

ことなるのですさらに、私たちがその深い場所に降りて、神がこれらのものをどのように動かしたかを見るとするならば、それは素晴らしいのです。それはただあなたを叫ばせるでしょう。私はそれを読んで、少し歩き回って泣き、戻ってまた腰を下ろし、そしてしばらく歩き回っていました。私はそれを知ってとても幸せです:神は私たちが生きている時間にそのことを私たちに見せてくれるように私たちにどのようにとても慈悲深くなったのですか?なぜ、それはイエスが「ある人が特定のダイヤモンドを買うために必要なものをすべて売った」と言ったようなものです。あなたはこれを持つために、世、世のもの、そして他のものに関係するすべてのものを捨て去ってしまえるのです。そうです、錨全体をその上に置いてください。彼の言葉の啓示を見ることは魂の錨なのです。

43 さて、それを読む人は誰でも祝福されています。そうですか?そして今朝、あなたが読めないなら、それを聞いた人は誰でも祝福されていると言いました。さて、それはそれが読まれているのを設定して聞く人々への祝福から始まり、それに何かを追加したり、それから何かを取り除こうとする人への呪いです。そして、聖書がイエスが全能の神であることを明白に明らかにしているなら、そこからそれを奪う彼に災いをもたらします。ええ。それは啓示です。誰でも何かを加えるものは…それは黙示録の完全な規範なのです。それは神の最後の書、神の最後の言葉、神の言葉…そして、それに反する啓示は、誤った予言です。それは神ではありません。なぜならこれこそが真理だからです。

そして、覚えておいてください、これはキリストが彼自身によって承認した聖書の唯一の本です。考えてみてください!唯一の本、彼自身の啓示です。彼が彼の封印をし、彼の祝福と彼の呪いを置いた唯一の本。それを受け取る人々への祝福、それを受け取らない人々への呪い。

44 さて、さて、パトモス島に行きましょう。9節です。そもそも、言いたいのは…このタイトルは次のとおりです。パトモス島での幻。西暦95年から96年の間に行われました。場所はパトモス島でした。その場所は、地中海に面したエーゲ海のエペソ教会の反対側、西の小アジアの海岸から30マイル離れたところにあります。それがその我々がいる立ち位置なのです。

考えて!現在、小さな島が小アジアの海岸から30マイル離れたエーゲ海にあります。フィラデルフィア教会、または最初のメッセージが与えられたエペソ教会に対抗して、ヨハネは当時牧師でした。言い換えれば、東を振り返ると、彼は自分のいる場所から自分の教会をまっすぐ見ていました。そして最初のメッセージは彼の教会へのもので、それは教会の時代を表しています。さて、その幻は当時エペソの教会の牧師であった聖ヨハネに与えられました。

45 では、この島はどのような状態でしたか?それはどこにあり、どのような状態でしたか?つまり、それは蛇、サソリ、トカゲなどでいっぱい岩だらけの島として歴史上知られています。周囲30マイルで、岩だらけの島です。ヨハネの時代、アルカトラズのように島流しの島(刑務所)として使われていました。ローマ皇帝の帝国が犯罪者、本当の悪い犯罪者を追放し、彼らを刑務所などに入れることができなかった場所のような人々を置く場所で、彼らは彼らを死ぬために送り、彼らが死ぬまでそこに留まらせていたのです。

質問:ヨハネがそこにいた理由は?敬虔な人、義人、評判の良い人、性格の良い人、決して困ったことのない人、なぜこの人がそこにいたのですか?聖書は「神の御言葉とイエス・キリストの証のために」と言っています。

46 これを設定が完了しました。エーゲ海のパトモス島は、海岸から30マイル、周囲約30マイル、岩が多く、トカゲやサソリなどでいっぱい、刑務所の家として使われていました(アルカトラズのように)。彼らはここに刑務所に入れられない囚人を連れて来ていたのでした、彼らは…とても恐ろしい犯罪者だったので、彼らは彼をアルカトラズに連れ出しました。

そして、彼らはこの聖ヨハネを神聖なものとして…最後の弟子であり、自然死した唯一の弟子をそこに連れて行ったのです。ヨハネは島に行く前に「魔法使い」とであると非難され、油の入った大桶で24時間煮沸されても彼は焼かれることはありませんでした。人から聖霊を煮沸して取り出すことはできません…?…油の入った大桶で彼を24時間煮沸しても、何の痛みもありませんでした。そして、ローマ人が言う理由は、「彼は魔法使いであり、油に魔法をかけた」と言いました。肉の心は何を考えることができますか!さて、彼らが私たちに「読心術師、占い師、そしてベルゼバブ」と呼ぶとき、あなたはその古い霊がどこから来たのか分かりますか?しかし、あなたは本当の霊がどこから来たのか分かりますか?それはその教会時代です。分かりますか?24時間、熱く泡立つ油が沸騰して煮沸しようとしていても、彼に触れることさえありませんでした。ああ、どのように神は彼の聖霊と共に彼を彼の中に守られたのか。彼の仕事は終わっていませんでした。

47 彼らは彼を2年間その島に置いたのでした。そして、神は彼を一人でそこに置いていましたが、主の御使いが彼にそれを明らかにしたので、彼は黙示録を書きました。そしてそれが終わるとすぐに、彼は故郷に戻り、エペソの教会で牧師となりました。そして死んで、神聖なるヨハネはエペソに埋葬されました。

48 ああ、今、なんという設定でしょう!よし、教会はヨハネの下、または大きな迫害の下で、ヨハネは9節を書いています。

あなたがたの兄弟であり、共にイエスの苦難と御国と忍耐とにあずかっている、わたしヨハネは、神の言とイエスのあかしとのゆえに、パトモスという島にいた。

言い換えれば、彼は神の言葉を受け取り、それが神の言葉であることを証明していました、そしてキリストは彼を通して戻ってきて、彼が正しいことを証言しました。そういうことなのです。神の御言葉が彼の中に現れ、彼が神の僕であることを証明しています。それから彼らはそれを否定することができなかつたので、彼らは彼が「魔術師」とであると彼に言わなければなりません。「彼は油に魔術をかけました、だからそれは彼を傷つけませんでした、そして彼は人々を魅了しました、そして彼らは癒されませんでした、そして占い師でした…ある種の悪い人、悪霊…偽ものの霊。」そしてそれが彼らが彼を社会の中にいるのは危険だと思って彼をそこに置いた理由です。しかし、彼は神の御心を実行するだけであり、神はそのすべての条件の下で目的を持っていました。

49 彼は聖人が来ていたので、彼とすべての迫害と物事を使うことができませんでした。「ああ、ヨハネ兄弟、これについて私たちは何をしますか?そして、私たちは何をしますか?」

ヨハネは預言者でした、私たちはそれを知っています。そして、彼らはこれらの質問をしていたので、神はローマ帝国に彼を迎えに来て島に連れて行ってもらいました。そして、「さあ、ヨハネ、ほら、これから起こることをお見せしたいと思います。」と言いました。最後の使徒たち、それを書いたのはヨハネだけでした。それで彼らは彼を西暦95年から西暦96年までパトモス島に連れて行きました。そして彼はそれを書きました、そして彼は言いました:

あなたがたの兄弟であり、共にイエスの苦難と御国と忍耐とにあずかっている、…

さて、彼は大患難については話しませんでした。それは大患難ではなく、大患難は教会には来ません。大患難は教会にはなくユダヤ人に起こります。ですから、それは苦難であって、大患難ではありませんでした。

50 さて、10節:

ところが、わたしは、主の日に御霊に感じた。そして、わたしのうしろの方で、ラツパのような大きな声がするのを聞いた。

わたしは、主の日に御霊に感じた…

さて、あなたは最初に御霊に入るまで何の役にも立ちません。神はあなたを使うことはできません。あなたは—あなたは—あなたは—あなたは…あなたのすべての努力は無駄です—最初にあなたが御霊の中でそれをするまでは無駄です。「私が歌うなら、私は御霊の中で歌います。もし私が祈るなら、私は御霊の中で祈ります」とパウロは言いました。そして、何か良いことが私に来た場合、それは御霊によって私に明らかにされ、みことばによって確認されなければなりません(それがもたらす結果によって明らかにされます)。

51 さて、言い換えれば、イエス・キリストは、私が悔い改め、イエス・キリストの御名によってバプテスマを受けらば、聖霊の賜物を受け取ると彼の言葉で約束しました。私が最初にするのは悔い改めることです。それが本当だと私に明らかにされました。次に、イエス・キリストの御名によってバプテスマを受け、その結果は次のようになります。私は聖霊を受けます。

もし私が病気で、教会の長老たちに油で私に油を注がせると彼が約束してくれたなら、私のために祈ってください。信仰の祈りが病気の人を救うでしょう。「主よ、私は信じています。私はあなたの指示に従いますので、長老に私のために祈らせ、私に油を注がしてください。」それで解決します。続けてください。すべてです。すべて終わりなのです。

52 「ああ」とあなたは言います、「しかし、何の違いも感じません」。イエスは生まれたものではありません。神が天地の創られる前に彼を殺したとき、彼がいたとき、彼は神の小羊であり、天地が創られる前に殺されていきました。しかし、神自身の心の中で、神はすでに成し遂げられていたのです。私もここにいませんでしたし、あなたもいませんでした。しかし、神の書では、もし私たちの名前がそこにあったとしたら、それは天地の創られる前に書かれていました。

神が何かを言うとき、それは起こらなければなりません。ですから、あなたが神の資格を満たしたとき、ただ覚えておいてください。神はご自身を現し、残りの面倒を見てくださるのです。あなたはただ先に進んで、それは既に完成された業なのです。ああ、それは素晴らしいことではありませんか?ああ、素晴らしい、考えてみてください!ただ神に言いなさい…そして神は、「あなたはこれをする、そして私がこれをする」と言われました。ええと、私がこれをするなら、彼はそれをしななければなりません。

53 さて、悪魔は「ほら、彼は遅れている」と言います。

それは何の違いももたらしません。ダニエルは一度祈りました、そして天使が彼に来る前にそれは21日でした、しかし彼は落胆していませんでした、彼はとにかく彼が来ることを知っていたので、彼はそこに着くまでただ待っていました。それが考え方なのです。ああ、それはあなたが信仰を得ているときです。今、私たちはそれをやめなければなりません、私たちはすぐに癒しの礼拝を持つんですよね?そうです。ええ、信仰の。しかし、私たちは魂を癒す礼拝、心の内を癒すことを望んでいます。それは続くので、あなたは永遠の命を手に入れるのです。永遠の命は消えたり古くなったりすることはなく、そのまま変わることはないのです。

54 さて、彼は何かが起こる前に御霊に入りました。彼が最初にしたことは、彼はパトモスと呼ばれる島にいて(彼がしたこれらすべてのこと)、そして彼は「私は声を聞いた」と他のすべてのことを言いました。しかし、何かが起こる前に、彼は御霊の中にいました。そして、あなたが聖書の中で、大文字の霊、聖霊に気づいたら。アーメン!彼は御霊に感じてそのうちに入った。ああ、それはただ素晴らしいことだと思います。

わたしは、主の日に御霊に感じた。…

何の日に?主の日。さて、大きな議論があります。ちよつとの間、それに静かになってもらいましょう。

さて、今朝私たちが言ったように、マタイ17章の啓示は「ペテロ」とであると言う人もいました。カトリック教会は言いました、「彼はペテロの上に彼の教会を建てました。彼が最初の教皇でした。」どうして彼は教皇になって結婚したのでしょうか?分かりますか?そして、「ペテロはローマに行き、そこに埋葬されました。」と言いました。それから、ペテロがローマに行ったことがある場所、歴史、またはどこかを教えてください。分かりますか?パウロはしましたが、ペテロはしませんでした。大丈夫です。

55 ですから、これらすべての主義や物事がちよつど忍び寄ってきたことがわかります。分かりますか?しかし、そして今日の人々は…どこへ行っても…いくつかの偉大な教会は彼の手にあった特定の釘を持っています。あなたは彼らは何本の釘を手に入れたのか知っていますか、本物の釘、今日それは…?19本。彼らは骨を手に入れました—彼らはロープのかけらを手に入れ、触り扱っていました。そして、私たちは必要ありません。私たちはそれらのものを持っていません、私たちはそれを必要としません。キリストは生きています!彼は私たちの中にいます。釘や十字架や骨などではありません。彼は生きている神であり、今私たちの中に住ん

でいて、彼自身を現しています。主の死を記念した記念の記事が1つだけあります。それは主の晩餐です。しかし、キリストご自身に関する限り、彼は私たちと共に、そして私たちの中にいます。そして、それが私たちが世界に手を持って振りたいたいのが(聖霊の栄光)です。光が消えるまで振ってください。大丈夫です。

56 さて、…だから、分かるように、私たちは道の反対側を取りました。あなたは私がいつもこれになろうとしてきたことを知っています、そして私たちの主はいつもそれを私に明らかにしてくれました。極端なものともう一つの極端なものがありますが、道のど真ん中に真理があるのです。高い道があると言っていたイザヤに気づきましたか?イザヤ書35章。そして、あなたは私たちの尊いナザレ派の兄弟たちがどのようにその歌を歌っていたかを覚えています。「高い道にある聖さ」高い道の聖さ。」さて、聖書を正しく読めば、「高い道の聖さ」とは書かれていません。それは、「聖なる道と道があり、それは呼ばれる」と言っていました。聖なる高い道ではなく、「聖なる道」です。そして、それはあなたの文を終える結合です。分かりますか?「それは高い道であり道であり、聖なる道と呼ばれるものである」聖なる高い道ではない。

ほら、道が作られ、道が…すべてのゴミが両側に洗い流されるので、良い道路が作られ、最も高い部分が中央にあります。それなのです。人が本当にキリストに来るとき、彼はキリストに目を向けます。彼が少し感情的であれば、彼は狂信者になるでしょう。彼が少し寒い場合、彼はこの反対側に乗り、その側でただのきゆうりになります。ほら、彼の知性。しかし、主なことは道の真ん中にあり、十分な霊があなたの中にあり、あなたを暖かく動かし続けることです。アーメン!そして、御霊に従順であり、御霊が動くのと同じように動くのに十分な知識を持っています。御霊が動くのと同じように、それまでも後でもありません。

57 カトリック教会は、「啓示はペテロでした」と言いました。

プロテスタント教会は「それはキリストでした」と言いました。

しかし聖書は、「彼がキリストについて与えた(神が彼に与えた)啓示でした」と教えています。

「あなたは生ける神の御子、キリストです。」

「すると、イエスは彼にむかって言われた、「バルヨナ・シモン、あなたはさいわいである。あなたにこの事をあらわしたのは、血肉ではなく、人でも、神学校でも、修道会が教えたのでもない。天にいますわたしの父である。そこで、わたしもあなたに言う。あなたはペテロである。そして、わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てよう。黄泉の力もそれに打ち勝つことはない。」

58 今、私たちはここで彼らが2つの異なる考え方を得る別の場所に来ています。さて、私は間違っているかもしれませんが。もし私がそうなら、神が私を許してくださいますように。しかし、私は「彼がいた7日目、主の日だった」と言っているセブンスデーアドベンティストには同意しません。セブンスデーアドベンチストの兄弟たち、そして彼らの多くは、彼が主の日と呼んだのは安息日だったと主張しています。クリスチャンの教会はそれを主の日を「日曜日、初日」と呼んでいます。そして、私たちは多くの場合、クリスチャン教会でありながら、今日、プロテスタントの人々がそれを「主の日、日曜日」と呼んでいることに気づきます。それは聖書的ではありません。日曜日は聖書の最初の曜日であり、主の日ではありませんでした。そして、それは7日目でもありませんでした、安息日。ヨハネが黙示録を書くのに2年かかったので、それがその日のいずれかになることは不可能でしょう。どの日でしたか?それらの七日目の日々は多くがあり、最初の日は過ぎ去ります。

59 聖書、黙示録は西暦95年から96年までの2年間に書かれました。それは主の日でした。主の日はまさにそれが言ったことであり、それがそうでした。ヨハネは御霊によって主の日に運ばれました。これは人間の日ですが、主の日が来るのです。聖書を読み進めると、彼は主の日において、御霊に感じて、主の日に引き継がれていくことがわかります。アーメン!そうです。ほら、彼は主の日にいました。聖書は主の日について語っているのです。少し、多くの聖句でそれについて説明します。

60 まず、安息日と言えば、安息日は特定の日を守っているわけではありません。土曜日に安息日を守るという律法はありません。新約聖書でも、安息日の初日を守るようにという戒律はありません。聖書はヘブル人への手紙の第4章で、「もしイエスが彼らに休息を与えたとしたら、彼はその後、別の日について話さなかったでしょう」と言っています。そうです。しかし、神の民には休息、つまり安息日が残っています。信じた私たちもまた、彼の休息に入りました。私たちは神が神のためからされたように私たちの働きをやめます。

しっかりと見て下さい!ああ!主を褒めたたえよ。私はとても気分が良くなり、自分より先に進みます。

61 安息日に注目してください。神は6日で地球を作り、7日目に彼は休息に入り、もはやそれ以上の世界

を構築するために二度と戻ってこなかった。それから彼はそれを記念として人々に与えました。今はそれを保つことができなかつたので、ここで安息日を守っているとき、世界の反対側では再び日曜日になるからです。分かりますか？それで、それはそれが人々のためであり、イスラエルのための空間と時間であることを示しました。しかし、それでも神の民のための安息日を守ることが残っています。

わたしたち信じている者は、安息にはいることができる。それは、「わたしが怒って、彼らをわたしの安息に、はいらせることはしないと、誓ったように」と言われているとおりである。しかも、みわざは世の初めに、でき上がっていた…(私はヘブル人への手紙の第4章を引用しています)…

…すなわち、聖書のある箇所、七日目のことについて、「神は、七日目にすべてのわざをやめて休まれた」と言われており、

そして再び、彼は特定の日を制限し、ダビデ書の中でこう言いました…(ヘブル人への手紙4章)

繰り返しになりますが、彼は特定の日を制限し、ダビデでこう言いました。神は、あらためて、ある日を「きょう」として定め、長く時がたってから、先に引用したとおり、「きょう、み声を聞いたなら、あなたがたの心を、かたくなにはいけぬ」

なぜなら、もしイエスが彼らに休息を与えたとしたら、(日)…彼はその後、別の日について話さなかつたでしょう。

しかし、そこには…休息(または安息日を守ること)が残っています…

62 「休む」という言葉。安息日は私たちにとって奇妙な言葉ですが、「休息」を意味しています。それは「休息」の日、安息日を意味するヘブライ語です。動かないで、休むということです。

もしイエスが彼らを休ませていたとすれば、神はあとになって、ほかの日のことについて語られたはずはない。

こういうわけで、安息日の休み(安息日を守る事)が、神の民のためにまだ残されているのである。

なぜなら、神の安息にはいった者は、神がみわざをやめて休まれたように、自分もわざを休んだからである。

翌週に戻って再開することはありません。休憩に入りました。イエスはその奇跡について語り、「あなたがたは彼らが昔からこう言うのを聞いたことがあります。『殺してはならない』。私はあなたがたに言う、だれでも理由もなく彼の兄弟に腹を立てて、なぜならすでに殺された。『姦淫するな』と言われていたことは、あなたがたの聞いているところである。それが戒めです。しかし、わたしはあなたがたに言う。だれでも、情欲をいだいて女を見る者は、心の中ですでに姦淫をしたのである。」そうですか？

63 ですから、これらはすべて記念碑であり、ただのしるしであり、奇跡であり、リアルタイムが来るのを待っていました。さて、イエスがそれを終えたとき、マタイ11章(山上の垂訓)、彼は言いました：

すべて重荷を負うて苦労している者は、わたしのもとにきなさい。あなたがたの魂を休ませてあげよう。

わたしは柔和で心のへりくだった者であるから、わたしのくびきを負うて、わたしに学びなさい。そうすれば、あなたがたの魂に休みが与えられるであろう。(そうですか?)

すべて重荷を負うて苦労している者は、わたしのもとにきなさい。あなたがたの魂を休ませてあげよう。(もしあなたが1日、10日、5年、35年、50年、90年働いていて、あなたが疲れていて疲れているなら、わたしのところに来なさい。わたしはあなたに休息を与える。わたしは取る。あなたから罪のすべてのその負荷を取り除き、あなたに入り、あなたに完全な休息と満足を与えます。)

64 さて、その残りは何ですか？さあ、これを少しだけ解決して、それが何であるかを見てください。彼らの何人かは、「なぜ、あなたは教会に参加しに行かないのですか？」と言いました。いいえ！「あなたはその書にあ

「あなたの名前を書きました。」いいえ!「まあ、ある種の水のバプテスマ。」いいえ!さてそれで落ち着き、それが何であるかを見てみましょう。私たちが待っている間に、ここでそれを行いますか?ヨハネがどこに行ったかを見ていきます。彼はどのような日に行きましたか?

イエスが地上で死に、彼の業が終えられたとき、彼はどこかに入られました。

65 では、イザヤの第28章と第8節に戻りましょう。さて、イザヤ28:8だと思います。そして、それが起こる712年前に預言者が語っていたイザヤ28章を読みましょう。さて、本当の安息日が何であるか、本当の休息が何であるかを知りたい人はどれくらいいますか?ここにいます。さて、ここで預言者がそれを話しました、そして私はそれがどこで起こるかをあなたに示します。見てください、イザヤ28:8:

すべてのために…(最近の預言者の預言)

すべての食卓は吐いた物で満ち、清い所はない。(聖餐式をとる人々、喫煙と飲酒、嘘と盗み)…そのため、きれいな場所はありません。

彼は誰に知識を教えようか? …

今日、誰に知識を教えることができますか?

66 今日のビリーグラハムを聞いた人は何人いますか?それは彼が説教した素晴らしい説教でした。人々がどのようにして嘘を信じてその嘘を続け、そして自分自身を義化し、彼らが正しいことをしていると考えることができるのか。アメリカの大衆は、「賢い人のフィルターと喫煙者のタバコ」と言って、悪魔の嘘の一つを取り、彼を馬鹿にする代わりに、そのようなものを吸って試してみました。彼を賢い人にするために。彼はそれを吸うことさえ愚かなことです、それが死と癌と他のすべてでいっぱいであるのに、それでもそれを肺に吹き込むのですから。彼は愚かです。賢い人のフィルターではなく、そのようなものはありません。賢い人はそのようなものを使わないのです。

「エルテルの92でなければ、命はありません」など。キリストの外に命はありません。それが本当の真の命です。何が男性と女性にそのようなものを飲ませるのですか?彼らは神が神の後に渴きを与えるためにそこに置かれたその渴きを満足させようとしているのです、そして彼らは世の事柄でそれを満足させようとしているからです。そして、それが私たちがそれらのものを持っている理由です。それが人々がそのように行動する理由です。なぜなら、彼らは神のために彼らの中にあるその渴きを癒そうとし、悪魔は彼らに命の代わりに死を与えているからです。

…すべての食卓は吐いた物で満ち、

67 聖職者は、他のすべての人がそれについて話します、「少しきれいな楽しみを持っていても大丈夫です。」そのようなことはありません!

彼は誰に知識を教えようか? そして彼は誰に…教義を理解させるのでしょうか? 乳から引き離され、胸から引き出されたもの。(今、私たちはもう赤ちゃんではありません。)

それは教訓に教訓、教訓に教訓、規則に規則、規則に規則。ここにも少し、そこにも少し教えるのだ:

否、むしろ主は異国のくちびると、異国の舌とをもってこの民に語られる。

主はさきに彼らに言われた、「これが安息だ、疲れた者に安息を与えよ。これが休息だ」と。しかし彼らは聞こうとはしなかった。

それはいつ起こりましたか?720年後、ペンテコステの日に唇がどもり、人々は皆聖霊に満たされ、他の異言で話し始め、聖霊は彼らの命を奪い、世俗的なものから離れました。その後、彼らはキリストと共に休息に入りました。パウロはヘブル人への手紙の第4章で次のように述べています。「なぜなら、神の安息にはいった者は、神が創造された日にみわざをやめて休まれたように、自分もわざを休んだからである。」あなたの本当の真実の安息日があります。

68 それでパウロは拾われてその安息の霊に入り、聖霊によって主の日までずっと伝わっていました。

なぜ戦争が起こったのですか?なぜ問題が発生したのですか?なぜ国は国に敵対するのですか?命の

君、イエスが来て、彼らは彼を殺しました。

数週間後、または今でも、トナカイとサンタクロース、そしてジングルベルとあらゆる種類のものがぶら下がっています。これは異教の儀式です。カトリック教会のものなのです。人々は大きな代償を払い、プレゼントやそのようなものを交換します、異教徒！クリスマスは礼拝の日です。

69 ちなみに、キリストは12月25日に生まれてもいませんでした。彼はそうすることができなかつたでしょう。ユダヤに行ったことがあるなら、丘は雪でいっぱい、ここよりもひどいです。すべての自然が現れる4月に生まれました。

今、しかしそれは彼らの伝統です。そして、なぜ—なぜ私たちはそれらのことをするのですか？なぜなら、私たちが神の戒めではなく、人の伝統に従うからです。それら…そのようなことは問題ではありませんが、彼らはそれから商業的な日を作るだけです。彼らがそのようなことをするのは恥ずべきことであり、残念です。異教の儀式！サンタクロースはいつイエスと関係がありましたか？イースターのウサギやニワトリ、あるいは…ある種のインクか何かで着色されたのはいつですか、あるいはある種の小さな白いウサギはイエス・キリストの復活と関係がありましたか？商業界がどうなっているのか分かりませんか…？

それが彼らがこれらの古いロックンロールの本、汚い写真、そして下品なものを売る理由です、そしてそのようなものは、人々の性質がそのようなナンセンスを切望しているからです。それは、心に何か問題があるからです。彼らは神と共にその休息に入り、これらのことをやめたことは一度もありません。彼らがそこに入って聖霊を受けると、彼らは世と世のもので終わります。

70 神が彼を遣わされました。ああ、彼が今、パウロのように第三の天国に連れて行かれ、物事を見たとは信じていません。さて、尊い聖霊が数週間前にしたのです、ここで、私に見せてください…言い換えれば、私は死を恐れていました、そして聖霊が私を引き継いで、それが何であるかを私に示しました。あなたはその証言を聞いたことがあります。それから私が戻ってきたとき、「では、死、あなたの刺し傷はどこにありますか？」幕のすぐ向こうにあるものを見るために送られたのでした。彼は私に戻って来させてくださり、そこを超えている時、私たちは不気味な人や霊ではなく、若くて、決して死ぬことはなく、決して病気になることがなくなる、ただバールを超えた男性と女性になると言わせてくださいました。死はあなたをその場所に引き込む以上のことはできません。

71 さて、ヨハネはパトモスの島から御霊によって主の日に送られたのでした。これは人の日であり、人は戦っていますが、これらの王国が私たちの主と彼のキリストの王国になるとき、主の日が来るでしょう、そして大いなる至福千年があります。主の日、主の来臨の日、主の裁き、それが主の日となります。

これは人間の日です。それが彼らがあなたに向かって扉をバタンと閉め、彼らがあなたとしたいことをする理由ですが、時間があるでしょう……彼らは今あなたを「ホーリーローラーで狂信者」と呼んでいます、しかし彼らがそれをしない時が来るでしょう。彼らは悲鳴を上げて泣き叫び、あなたの足元にひれ伏すのです。聖書によると、マラキ4章では、灰が燃え尽きた後、灰の上を歩くことさえあります。それらを根にも枝にも残らないでしょう。それはまさに聖書が言っていることです、「義人は悪人の灰を踏みつけ」。まさにその通りです。彼らは根や枝に残されることはなく、戻ることは何もありません。そして、それらは終るでしょう。さて、今は人間の日(人間の行い、人間の働き、人間の教会、人間の考え)ですが、主の日が来ているのです。

72 さて、彼は主の日に御霊の内にいました。分かりました、そして彼が主の日に御霊の中にいたときに彼が最初に聞いたのは…今、私たちは10節を得ました：

ところが、わたしは、主の日に御霊に感じた。そして、わたしのうしろの方で、ラツパのような大きな声がするのを聞いた。

さて、1つのたとえ話を渡さないようにしましょう。明日それを取る必要がある場合、それを取ることができますね。誰かが時計を見ていてください、私があまりにも遅くならないようにするので。

さて、今、「…主の日に御霊に感じた。」覚えておいてください、あなたが最初にしなければならないことは何ですか？聖霊の内に入る。これらの啓示はどのようにしてあなたに届くのでしょうか？聖霊の内に入る。どのようにして聖霊の内に入るのでしょうか？聖霊の内に入る。霊に入る！

あなたが罪人であり、ダンスに行ったとき、あなたはその霊に入りました。ああ、何てこと、あなたは手をたいて足を軽くたたき、シンディギンを始め、床に帽子をかぶって、ぐるぐる回って、ばかげた行動をし始めま

した。あなたはその霊の中にいました。誰かがダンスの悪鬼で、ダンスに行つて、「まあ、皆さんはかなり楽しい時間を過ごしていると思います」と言うことを想像できますか？

「ああ！」彼らは言うでしょう。「あなたがた壁の花たち、ここから出て行け！」分かりますか？

73 野球に行つて、誰かがホームランなどをノックして、セットして見て、「まあ、それはかなり良いと思います」と言います。いや、あなたは野球の悪鬼ではないでしょう、あなたは本物ではないでしょう…あなたは野球の霊にはいないでしょう。誰かがホームランをノックすると、あなたは立ち上がつて大声で叫びます。「ヒュー」何てこと！勝つ！」そのように誰かの帽子を頭から叩き落としてください、誰もそれについて一言も言いません。

それから教会であなたが御霊に入るとき、立ち上がつて叫ぶのです、「栄光！ハレルヤ！主を褒めたたえよ！」

誰かが振り返つて、「ホーリーローラー」と言います。(ああ、ウッド兄弟…)

一つ質問します。私たちがそうしているために私たちがホーリーローラーであるなら、彼らはそこにいる不聖なローラーです。私は不聖なものよりもむしろホーリーローラーになりたいです(あなたはそうではありませんか?)。そうですよね！確かに！不潔なローラー。

74 さて、彼は御霊の内にいました。彼が御霊の内に入ると、それから物事が起こり始めます。そして、そこに入ると、ラッパの音が聞こえました。さて、ラッパの音は常に何かの接近を知らせます。あなたが来たときのように…王が近づいてきています。彼らはラッパを鳴らします。イエスが近づくと、彼はラッパを鳴らします。そうですか？ヨセフが前に出て行つたとき、彼らはラッパを鳴らしました。そして今、何かの前に出てきて、ヨハネは御霊に入り、ラッパの音を聞きました。彼はラッパの音を聞いた、そして彼がラッパの音を聞いたとき彼の後ろにあるものを見るように向きを変えた。彼が御霊に入った後でした。

75 多分彼は島中を踊つたり、ジャンプしたり、走つたりしていたのでしよう。彼は楽しい時間を過ごしていました、彼は御霊の内にいました。それで、彼は…それは不誠実に聞こえるかもしれませんが、私はそのようにそれを意味するものではありません、見てください。彼はできた！それが…まあ、彼がしていたことかもしれません。私は彼が御霊の内で楽しい時間を過ごし、ただ神を賛美していたと信じています。なぜなら、それはまさに御霊がそもそも彼らに降りかかったときに起こったことだからです。聖霊が彼らの上に落ちたとき、彼らは酔った男性と女性のようによめき、酔っているように振る舞い、しゃべつたりしていました。そして、人々が「これらの人々は新しいワインでいっぱいです」と言うまで、そのように呼び続けます。それが彼らが最初に行動した方法なので、御霊が再び現れます、彼はおそらく同じように行動しました。分かりますか？これについて新しいことは何もありません。これは昔からの宗教です。ええ。

76 「主の日の霊の内に。」今、私たちはそれを聞きます。さて何？さて、彼は何をしていましたか？彼は今、御霊によって島から主の日に移されました。そして、主の日に入るとすぐに、ラッパの音が聞こえました。それはなんですか？誰かが近づいている印なのです。偉大なる方が近づいているのです。ラッパの音が鳴ると言うことは、誰かが来ているという事！彼は見た！ハレルヤ！ラッパ：

わたしはアルパであり、オメガである。最初の者であり、最後の者である。初めであり、終りである。…(第2者または第3者の発表ではなく、唯一の当事者)…私はアルファとオメガの両方です…(「何かをお見せする前に、私は私が誰であるかをあなたに知らせたいです!」)

すべての啓示の中で最大のものは、私たちの主イエス・キリストである最高の神である神です。それを信じるまで、最初の基地に行くことはできません。それがペテロが言ったことです。「悔い改めて、神を見てください。あなたの罪の赦しのためにイエス・キリストの御名によってバプテスマを受けてください。そうすれば、あなたは御霊の中に行く準備ができるのです。」あなたが最初に知らなければならないことはキリストである神です。「私はアルパでありオメガです！私はAからZまでです。私以外に何もありません。私は初めにいて、私は最後にもいるのです。私は全能者であり、そしてこれから来る神なのです。」考えてみてください！それがラッパが言ったことなのです。

77 ヨハネ気をつけなさい！あなたは御霊に入りました、何かあなたがあなたに明らかにされるでしょう。それはなんですか？ラッパの音、初めに「私はアルパでありオメガである。」すべての啓示の最初のもの。(ああ、罪人、頭を垂れなさい、時に遅れる前に今こそ悔い改めてなさい。)
「私はアルパでありオメガである。」それが彼が誰であるかを彼に最初に知らせたのです。(これは誰が近づいているのですか？これは王イエスですか？王であ

る神?聖霊王?)彼は言いました、「私はそのすべてです!私はAからZまですべてなのです。私は始めであり終わりでもあるのです。私は不滅で永遠の者です!」

ほんの少し後、私たちは彼の七倍の人物で彼を見て、その時彼が何であるかを見てください。「私は始めであり終わりである。私はアルファとオメガであり、初めで終わりのものである。私は最初の人に来る前にいました。そして、最後がなくなった後も、私はまだそこにいるでしょう」と言い換えれば、「最初と最後!」

…その声はこう言った、「あなたが見ていることを書きものにして、それをエペソ、スミルナ、ペルガモ、テアテラ、サルデス、ヒラデルヒヤ、ラオデキヤのアジアにある七つの教会に送りなさい」。

78 さて、すべての啓示の最初のもはイエス・キリストの至高の神です。あなたが声を聞くと、あなたは彼が誰であるかを知らなければなりません。つまり、シナイ山で鳴ったのと同じ声、変容の山で鳴ったのと同じ声、同じもの、「人の子のようなもの」。

さて、この次の節を見てください。分かりましたね:

そして私は向きを変えました…(今第12章です。)

今週全体でこれらの教会について語るの、これらの教会をほんの少しの間放っておくつもりです。ほら、それを乗り越えていく予定です。

しかし彼は言いました、「これらは…私があなたに示すこのメッセージを送るようにあなたに指示するつもりです。」誰がですか?「私が最初で最後のものです。私こそが最高のものです。私は全能者です。そして、私はあなたに7つの教会にメッセージを与えているとあなたに言うために来ました。書いて準備してほしいのです。」分かりませんか?「そしてアジアにある7つの教会。」さて、彼らはそこにある教会であり、これらの教会の時代を代表する性質を持っていました。

79 今:

そこでわたしは、わたしに呼びかけたその声を見ようとしてふりむいた。ふりむくと、七つの金の燭台が目についた。

「7つの金の燭台。」さて、それは…欽定訳。おそらくスコフィールドか、トンプソンチェーンか、またはそれらのいくつかを持っているかもしれませんが、そこでは正しくありません。それは燭台ではなく、ランプホルダーと言っています。ランプスタンドが、元の翻訳で言われた正しい言葉だと私は信じています。言い換えれば、これらの7つの金の燭台は7つの教会でした。彼は少し後で、ここの20節で「あなたが見た7つの燭台は7つの教会です」と言います。だから、もしそれがろうそくだったら、ほんの少しですぐに消費されて燃え尽きるでしょう。しかし、それはろうそくではなく、燭台(ランプスタンド)です。それは燭台としてそれを与えます。「それらの燭台の間に、足までたれた上着を着、胸に金の帯をしめている人の子のような者がいた。」

80 さて、今見てください。ろうそくならばすぐに燃え尽き、消え、それ以上はなくなり、数時間で燃え尽きるでしょう。しかし、燭台(ランプスタンド)、このような燭台ならば、…

さて、ここで聖句に入って行きましょう。ゼカリヤ4:1。そうすれば、ゼカリヤから私たちが望むものを手に入れることができるかもしれません。ゼカリヤ4:1、そして私はおそらくこれで私たちが望んでいることをまとめることができると信じています。ゼパニアでゼカリヤを見つけることはできませんよね?分かりました。大丈夫です。私の古い聖書はまもなく擦り切れてしまいそうです。ゼカリヤ4:1、今すぐよく聞いてください、あなたはここで美しい絵を手に入れます:

天の使がまた来て、

預言者、さて、キリストの来られたちようど599年前に:

わたしと語った天の使がまた来て、わたしを呼びました。わたしは眠りから呼びさまされた人のようであった(今、預言者は幻の中にいます)。

彼がわたしに向かって「何を見るか」と言ったので、わたしは言った、「わたしが見ていると、すべて金で造られた燭台が一つあって、その上に油を入れる器があり、また燭台の上に七つのともしび皿があり、そのともしび皿は燭台の上であって、これにおのおの七本ずつの管が

あります。(ほら、同じ教会時代に上がって来るのです)。

また燭台のかたわらに、オリーブの木が二本あって、「(どういう種類。聖書の時代にそれらのランプが燃やされたのでしたか?どなたか知っていますか?油?どのような種類の油?オリーブ油)2本のオリーブの木?(それは何ですか?新約と旧約聖書、それはお互いに立ち上がっているのです)一本は油をいれる器の右にあり、一本はその左にあります

わたしはまたわたしと語る天の使に言った、「わが主よ、これらはなんですか」

わたしと語る天の使は答えて、「あなたはそれがなんであるか知らないのですか」と言ったので、わたしは「わが主よ、知りません」と言った。

すると彼はわたしに言った、「ゼルバベルに、主がお告げになる言葉はこれです。万軍の主は仰せられる、これは権勢によらず、能力によらず、わたしの霊によるのである。(彼はエルサレムを回復します。)

81 さて、燭台とは何ですか?燭台(ランプスタンド)です。そして、その美しさに注目してください。ここで、彼が振り返った時、彼はここにいる人の子のようなものが7つの金の燭台の真ん中に立っているのを見ました。これは7つの教会時代が来ることを意味しています。そして、各管、または燭台は、メインの大きなオイルセンサーに接続されています。そして、この油の中に芯がセットされた小さな奇妙な形のランプに出てきて、芯が油の中に浸かっていたのです。そして…である限り…彼らはスタンドの上部にオイルを注ぎ、それがメインの大きな茎と大きな枝を満たしました、そしてそれはこのように茎に流れ出しました。そして、芯が油に浸かっているランプ、—このパイプは…に昼も夜も燃え続けていました。あなたはそれを点火する必要はありませんでした、それは決して消えませんでした。彼らはメインの管に油を注ぎ続けました。そして、このように出てくるこれらの燭台は、それらの上にランプが設置されていました。ランプからの芯がここにされたことで、ここから命を得ていました。ああ、それはろうそくと何が違うのか。どれほど違うのでしょうか!それは燭台で、油を引いています。

82 さて、これらの燭台、旧約聖書のこれらの燭台にあった火。彼らが一つのランプをつけたとき、彼らは手に持っていたのと同じ火で次のランプをつけることができませんでした。彼らは一方のランプを点灯し、それを手に取り、もう一方のランプを点灯し、そしてそれを下に置きました。そして、このランプをつけて、それから彼らが最初に始めたのと同じ火でこのランプを取り、そしてつけました。ああ、それが皆さんの理解を超えないようにと願っています。「イエス・キリストは昨日も今日もいつまでも変わることがない」同じ火(聖霊)が時代を超えてそれらの教会のすべてを照らしました。

83 イエスはヨハネによる福音書15章で「私はぶどうの木であり、あなたがたは枝である」と言われませんでしたか?今、彼は主要なブドウの木であり、私たちは枝です。さて、ブドウの木は実を結びません…

[テープ上の空白のスポット—編集。]…オレンジのような柑橘類の木を取り、グレープフルーツの木から枝を取り、接木することができます。オレンジの木の小さな場所にそのグレープフルーツを入れると、成長します。ここに行ってレモンの枝を取り、オレンジの木に接木すると成長します。またはザクロを取り、それを取ります。または、柑橘系の果物、ミカンまたはタンジェロ、それらの柑橘系の果物のいずれかをこの木に接木すると、オレンジの木の命が失われます。しかし、それはオレンジを産みません。それはグレープフルーツを産み、タンジェロを産み、レモンを産みますが、それは本物の木の命から繁栄していますが、その本物の木が別のブドウの木を…別の枝を出すなら、それは同じものになるでしょうその中にある命、それはオレンジになります。なぜなら、元々初めはその根にオレンジの木の生命がありますが、それが柑橘系の果物の性質である限り、他のものはそれで生きることができるからです。しかし、オリジナルではないため、オリジナルの実を結ぶことはできません。

84 それが教会のあり方です。彼らは木を分割し、長老派、メソジスト派、バプテスト派などにそのように接ぎ木しました。バプテストの実、長老派の実、メソジストの実がありますが、もしそれが…その木が別の木を生み出すとしたら、それはペンテコストの日にもたらしたのと同じ種類のブドウの木、つまり元のブドウの木になります。それは異言で話し、力と復活したキリストのしるしがあるようになるのです。なぜですか?なぜなら、それは植えられた天然の源で繁栄しているからです。実際、それはその中に植えられているのではなく、その中に生まれているのです!主を褒めたたえよ!ああ、素晴らしい!その時はそのことを考えていませんでした。

ほら、これらの他のものは接ぎ木。彼らはそれらを木に接ぎ木するので、彼らは彼ら自身の種類の実を

結ぶのです。彼らはこれを取ることができません。彼らはそれについて何も知らなかったのです、それを信じません。しかし、彼らとその木から出てくる同じ生命の中で生まれた場合、彼らが耐えることができるのは、元の茎の生命だけなのです。

85 これらのランプの茎はすべて1つの大きなボウル、1つの大きなホルダーに収まり、9つの異なる…または7つの異なる燭台から出てきます。そして、彼らがそうしたとき、それらの光のそれぞれは、その生命の主要な源から引き出されていました。そして、その光は、ろうそくがこの主要なバルルに浸されていたためにでいたものでした。ああ、ここで聖霊と一緒に彼の人生が燃えている、それらの7つの星の1つ(それはそれを表しています)のなんと美しい絵なのでしょう。そしてそれは…信仰によって、彼は聖霊と共に燃えています、そして彼の人生はろうそく、またはろうそくではなく、聖霊に(キリストに)浸された芯であり、その芯を通して彼は光を与えるために神の命を引き出しています彼の教会。ああ、本当の信者の何と素晴らしい絵なのでしょう! 彼はどんな種類の光を与えていますか? 最初のろうそくが灯されたときと同じ種類の光。

最初の教会時代が始まったとき、それはエペソでした。その教会の御使い、星の一つであるパウロ。7つの星があります。これは7人の御使い、7人の「メッセンジャー」を意味します。今週、私は聖書と歴史を取り上げて、それらのそれぞれが各々の御使いにおいて真実であり、すべての御使いが同じ光を持っていたことをあなたに証明することができます。そうなのです。そして、これらの時代の間に、その偉大な方が来られるのです。

86 注目してください、今、彼らはこの油のメインバルル、光から引き出されています…命はキリストに浸されています。あなたは死んでいて、あなたの人生は…を通してキリストに隠されているか、キリストを通して神に隠され、聖霊によって封印されています。そこからあなたを遠ざける方法はまったくありません。どのようにそうすることができますか? 誰もあなたを改ざんすることはできません。あなたの人生の終わりは聖霊と共に燃えています。ああ、燃えていて、光を与えているのです。あなたの命のもう一方の端はどこに浸っていますか? キリストに。あなたは死んでいて、聖霊であるキリストに隠されており、そこであなたができることをブロックしています…悪魔はあなたに触れることができません。アーメン! 彼は気まぐれで音を立てることができます。死そのものでさえあなたに触れることはできません。「死よ、お前のとげはどこにあるのか? お前の勝利はどこにあるのか? 私たちの主イエス・キリストを通して私たちに勝利を与えてくださった神に感謝します。」

87 この節の終わりに、それを読みましょう:

ふりむくと、七つの金の燭台が目についた。

それらの7つの金の燭台の間に、足までたれた上着を着、胸に金の帯をしめている人の子のような者がいた。

何と! 気づきましたか? 星、燭台、ランプ。それはどういう意味ですか? これはどういう意味ですか? 私たちが生きているこの時代は夜間であり、ろうそくと光と星は夜を意味します。そして、星は何をしますか? 太陽が戻るまで太陽の光を反射します。主の御名に祝福あれ! そして、真の神の奉仕者は、懐中電灯、マッチの茎、殻が燃えているものを反映していません。彼はキリストの黄金の光線を教会に反射し、「彼は同じであり、彼は生きていて、彼は私を照らしています」と言っています。アーメン! それが彼が反射する光です。星は太陽の光を反射しているので、私たちは神の御子の光を反射しています。彼がしたのと同じことをして、光を与えます。どんな光? それらへの福音の光。

88 それでは、この13節の残りの部分を取り上げながら、彼をもう少し見てみましょう。

それらの金の燭台の間に、足までたれた上着を着、胸に金の帯をしめている人の子のような者がいた。

さて、この教義が主の日であるということについて正しいというより多くの証拠がここにあります。あなたは彼に気づきましたか? この間、彼は司祭ではなく、王でも、裁判官でもありませんでした。注目してください、司祭、大祭司、彼が聖域に入ったとき、または奉仕のために礼拝に行ったとき、彼は腰を自分自身で包みました。彼のガードルを腰に巻くことは、彼が仕えていたことを意味しました。彼の肩に巻いたことはありませんでした。しかし、ここで彼は出てきて、ガードルを上結び、サッシを肩にかけたまま出て行きました。腰の周りを身を包み、胸は金色のガードルで高く身を包んだ。それはなんですか? 弁護士、裁判官。裁判官はサッシを肩にかけ、司祭としてではなく、ここに身をかがめました。ほら、それは彼が今彼の司祭職にいなかったことを示しています、ヨハネはずっと主の時代に行き、彼が裁判官として来るのを見ました。

89 あなたは彼が裁判官だと信じていますか？ヨハネによる福音書5:22をすぐに読んでみましょう。彼が裁判官であるかがわかります。ヨハネによる福音書5:22:

父はだれをもさばかない。さばきのことはすべて、子にゆだねられたからである。

そうですか？彼は裁判官、最高裁判所判事なのです。そしてヨハネは、預言者としての預言の時代ではなく、王権の時代に突入したのではなく、裁判官としての主の日にいたことを示しています。さて、彼のガードルを持っている司祭、彼のウエストラインの周りの彼のひもが彼が奉仕中であったことを意味したことを知っている人はどれくらいいますか？旧約聖書を知っている、聖書を読む人は誰でもそれを知っています。司祭がこの辺りに身を包んだとき、彼は奉仕にいて、しもべです。しかし、裁判官、彼はここに身を寄せていました。

90 もう少し先まで読みましょう:

…それらの燭台の間に、足までたれた上着を着、胸に金の帯。…

そうです、ここで、彼は裁判官でした。

次に、彼の人の七倍の栄光を読みます。ああ、なんて素晴らしい！これは私がそれに到達する前に私を叫ばせます。[テープ上の空白のスポット—編集]注目してください！ああ、これはとても素晴らしいことです。ただ聞いてください:

そして彼の頭…

さて、見てください、彼は7つのことをここで言及しています:彼の頭、彼の髪、彼の目、彼の足、彼の声、…彼がここで言及した7つのこと、イエス・キリストの7倍の栄光。私にそれを読ませてください:

そのかしらと髪の毛とは、雪のように白い羊毛に似て真白であり、目は燃える炎のようであった。

…その足は、炉で精錬されて光り輝くしんちゅうのようであり、声は大水のとどろきのようであった。

その右手に七つの星を持ち、口からは、鋭いもろ刃のつるぎがつき出ており、顔は、強く照り輝く太陽のようであった。

なんという幻でしょう。彼はここで何を見ましたか？栄光の神の御子、そして象徴。それでは、さあ、準備をしましょう。

91 ああ 何と、それは9つだと思っていました。8つだけです。まだ始めていません。大丈夫です。それは良いことです。さて、これらの立っておられる兄弟達、申し訳ありません。彼らが立っているのを見ると緊張します。なぜなら、彼らの足が痛くなっているのを知っているからです。とにかく兄弟がいたら、私にできることなら何でも、きっとやるでしょう。さて、私はあなたにこれを本当に理解して欲しいのです。そして少しの間立ってください、そして神はあなたに豊かに報いて下さいますように、それが私の祈りです。

92 さて、今気づいてください、最初に気づいたのは、彼の頭と髪が羊毛のように白いことでした。彼の頭と髪が羊毛のように白かった。さて、それは彼が年をとったという意味ではありません、それはこれをしました。それが理由ではありませんでした。彼はこうなるように年を取っていたわけではありませんでした。彼は…それは彼の経験と資格と彼の知恵によるものでした。彼は永遠であり、永遠は年をとることができないからです。わかりますか？

最初に振り返ってみましょう。ここで彼をこのように描き、彼が何であるかを見つけるのです。さて、ダニエル7:9に目を向けましょう。ちよつとの間、ダニエルが来たのと同じ絵が見えます…ここでの古代の時代。そして、ほとんどの人、聖書学者は、私たちが今どこに向かっているのかを正確に知っています。ダニエル7章と9節。8節から始めます。

わたしが、その角を注意して見ていると、その中に、また一つの小さい角が出てきたが、この小さい角のために、さきの角のうち三つがその根から抜け落ちた。見よ、この小さい角には、人の目のような目があり、また大きな事を語る口があった。

わたしが見ていると、もろもろのみ座が設けられて、日の老いたる者が座しておられた

さて聞いてください。今、しっかりよく聞いてください。後ろの皆さんは聞こえますか？聞こえるならば「アーメン」と言ってください。私はそこにいる妻に尋ねました。このこのマイクは…より強いと思いますよね？さて、私はこれであまりにも激しく叫ぶと思います。

93 それでは、ダニエル7:9:

わたしが見ていると、もろもろのみ座が設けられて、日の老いたる者が座しておられた。その衣は雪のように白く、頭の毛は混じりもののない羊の毛(古代の時代)のようであった。そのみ座は火の炎であり、その車輪は燃える火であった。

彼の前から、ひと筋の火の流れが出てきた。彼に仕える者は千々、彼の前にはべる者は万々、審判を行う者はその席に着き、かずかずの書き物が開かれた。

「白い髪!」すべて…誰もがそれが古代の年老いた裁判官であることを知っています。イギリス人の裁判官が雪のように白いかつらをつけていたのと同じように。何人がそれを覚えていますか？古代の裁判官は白いかつらをつけていました。なぜなら彼らは…そして、ここで彼は、ヨハネが主の日に終わったことを再び示し、彼(イエス)を裁判官として見ました。アーメン!司祭、王、預言者ではなく、裁判官として。父(ヨハネ 5:22)はすべての裁きを彼に委ねました。そして彼は今裁判官です、国々を裁くために来られているのです。ああ、あなたがそのように彼を見るその日のために!彼の髪は雪のように白く、ダニエルは彼が古代の時代に來るのを見ました。彼がこれら2つを混ぜ合わせるのを見てください。大丈夫:

審判を行う者はその席に着き、かずかずの書き物が開かれた。

わたしは、その角の語る大いなる言葉の音がするので見ていたが、…(いいえ、私は間違った場所を持っていますね?)

94 ダニエル7:9、ええ、ここにいます:

…そして彼の車輪…

彼の前から、ひと筋の火の流れが出てきた。彼に仕える者は千々、彼の前にはべる者は万々、…

わたしは、その角の語る大いなる言葉の音がするので見ていたが、わたしが見ている間にその獣は殺され、そのからだはそこなわれて、燃える火に投げ入れられた(うーん!)

その他の獣はその主権を奪われたが、。(それはすべての異邦人の力と王国が崩壊するでしょう)その命は、時と季節の來るまで延ばされた。

わたしはまた夜の幻のうちに見ていると、見よ、人の子のような者が、(私たちは彼が今朝、3節でどのように來たのを見ましたか?天の雲の中に来て、人の子。)天の雲に乗ってきて、日の老いたる者のもとに來ると、その前に導かれた。……

彼に主権と光榮と国とを賜い、諸民、諸族、諸国語の者を彼に仕えさせた。その主権は永遠の主権であって、なくなることがなく、その国は滅びることがない

95 髪が羊毛のように白い時代の古代に來られたのでした。そしてヨハネは振り向いて、7つの金の燭台の真ん中に立っている人の子のようなもの、雪のように真っ白な髪を裁判官を見ました!腰の周りではなく、肩の周りに身を包んだ、ここまで、裁判官!裁判官のサッシを肩にかけ、彼は義を保持する金色の、純粹で、聖なる、洗練された腰巻を持って立っていました。彼の覆い!彼は足元まで覆われていた。彼の人と光榮の7つの現れを見てください。

96 さて、信じるに、14節:

そのかしらと髪は毛とは、雪のように白い羊毛に似て真白であり、目は燃える炎のようであった。

頭、髪;「目は火の炎のようでした。」考えてみてください!かつて人間の涙で薄暗くなっていたそれらの

目は、今では火の炎になっています。怒りの中で彼は怒った裁判官としてそこに立っています。なぜあなたは彼を拒絶したのですか？ああ、罪人、これを考えてください！考えてみてください、生ぬるい教会員！考えてみてください、カトリック、バプテスト、長老派、ペンテコステ派！考えてみてください、カトリック！あなたの処女マリアは五旬節(聖霊降臨の日)に上がって聖霊を受け、よろめいて酔った女性のように振る舞わなければなりません。キリストの母そのものが、天国に入る前にそれを手に入れなければなりません。あなたがた女性はどうやってそこにそれ以下のものが入ろうというのですか？考えてみてください、男性の皆さん、あなた方一人一人！

97 彼の髪と彼の目はかつて人間の涙で薄暗くなっていた、それでも私はあなたにそれらの目について何かに気づいて欲しいです。彼がまだ地上にいたとき、彼らは男のように涙で薄暗くなりました、なぜなら彼はラザロの墓で泣いたからです。そうです！同情に満ちています。彼の人間性。彼は罪を取り除くために服を着ていました、彼は人間として服を着た神でした。しかし、それでもその人間性の背後には、人の心を見下ろし、彼についてすべてを知ることができる何かがある後ろにありました。なぜ？彼の後ろには何かがありました、彼は人間の肉をまとっていました。

しかし、彼らはそれが誰であるかを知りませんでした。「だからわたしは、あなたがたは自分の罪のうちに死ぬであろうと、言ったのである。もしわたしがそういう者であることをあなたがたが信じなければ、罪のうちに死ぬことになるからである」。そうです。「わたしが父のわざをしなければ、わたしを信じないでください。しかし、私が父の業をするなら、あなたが私を信じられないなら、その業を信じなさい。」ああ、彼がどのように彼らにメッセージ、啓示を理解させようとなさったか。人の心を見下ろし、彼についてすべてを知ることができます。私の考え:かつて山を突き刺し、苦しみの顔をのぞき込み、人間のように泣くことができたが、その人間の幻の背後に神の御霊を取り、すべてのものを見ることができた目。過去にあったもの、過去にあった事実、あったもの、そしてやがて来るもの。最初から終わりを予告することのできる方。それは、神が人間の目の後ろにおられたからです。神にあなたの人生に入ってきてあなたを支配してもらいなさい。そうすれば、神があなたに来るべきことを示されます。それはもはやあなたではないからです。あなたがたの命の内におられる聖霊が、彼らを通して死すべき目を通して物事を選ぶのです。

98 ああ、神に栄光を！「わたしはわたしの霊をすべての肉に注ごう、あなたの息子と娘は預言をし、若い男性は幻を見、老人は夢を見る。」ハレルヤ！時々、彼はあなたを見通すことができるようにあなたを眠らせなければなりません、しかし彼は確かに何度もあなたに見せてくれるでしょう。「若者たちは幻を見、老人たちは夢を見るであろう。その時には、わたしの男女の僕たちにもわたしの霊を注ごう。」こうではないのです「わたしの執事と牧師の上に、そしてわたしの上に…」「だれであったとしても、すべての肉に、わたしの霊を注ぎます。」なぜ私がそれを叫ぶのか不思議に思うかもしれませんが、それはこれらの教会時代にやってくるのです。

99 ああ、彼はそこにいた、それらの目。そして、覚えておいてください、いつか、涙で薄暗くなったそれらの目は、裁きに立つでしょう。今、彼らは地球全体を行き来する炎のようであり、彼がそれを知っていること以外に何も起こりません。ああ、何と言う事、それは記録されています。地球をあちこち走りまわっていて、あらゆる動きを見て、あらゆる考えを認識し、あなたがしていることすべて、心の意図、あなたが何をしようとしているのかをご存知なのです。彼はそれについてすべてをご存知なのです。彼はあなたが彼を愛しているかどうかをご存知です。彼は彼に仕えるというあなたの意図が正しいかどうかを知っています。彼はそれについてのすべてをご存知なのです。そして、あなたがその日にすべての罪が彼の前に裸で立っていて、彼が白い御座の裁きに立っているとき、それはどうなるのでしょうか？

100 神よ、その場所から私を救い出してください！私はそれを見たくありません。怒り狂った神が彼の目から火を放ち、正義をもって、そのように彼の頭の上に白いかつらをつけ、そしてあなたの心のすべての考えとあなたがこれまでにしてきたことすべてを知っている彼の目が火で光りながらそこに出て行くとき。時代の岩の裂け目に私を隠してください！その老人はよく歌っていました。「この世界が皆燃えているとき、私のそばに立ってください。私のそばに立って、あなたの懐を私の枕とさせて下さい。時代の岩に私を隠してくださいように。」ますように神様、私はあなたの裁きを望みません。私はあなたの裁きを望みません…主よ、私が欲しいのはあなたの憐れみです。あなたの正義ではなく、あなたの憐れみをください。ただあなたの憐れみをください。あなたの律法ではなく、何でもない…主よ、ただ私に憐れみを与えてください、私の願いするすべてはそれなのです。私が持ってくるものは何もありません(私は良くない、数えられることもない)、ただあなたの十字架にしがみついているだけです。主よ、私が知っているのはそれだけです。ある方が私の代わりに来て下さるのです。

101 彼の7つの部分の人物を今見てください。そうすれば、彼が何をされたかがわかります。

そのかしらと髪の毛とは、雪のように白い羊毛に似て真白であり、目は燃える炎のようであった。(見てみましょう)そのかしらと髪の毛とは、雪のよう真白であり、目は燃える炎のようであった。

その足は、炉で精錬されて光り輝くしんちゅうのようであり、

今、しっかり見てください。彼がどこで覆われているかに気づきましたね。さて、しっかりと見てください。彼の頭、彼の目、今彼は真鍮のように彼の足元に降りてきます。ヨハネがイエスについて見たそのイメージと、ダニエルが世界帝国、金の頭などについて見たものとの対比を見てください。

真鍮、そこに立って、これが何であったかを見てください。真鍮は何について話していますか？真鍮は裁き、神の裁きについて語っています。それは、神の完全な目的が神として地上に来て肉体となることであり、神は私たちのために死に、神の裁き、神の裁きを受け、真鍮で堅固な王国を受けたということを示しています。動かされることは出来ないのです。真鍮ほど硬いものはなく、それを軟らかくするようなものはまだ見つかっていません。

102 裁き！真鍮は、神の裁きが過ぎたことについて語っています。荒野の真鍮の蛇を見なさい。その真鍮の蛇は何を表していますか？蛇は罪を表しています。しかし、真鍮であるため、裁きはすでに罪を超えました。

さて、彼らがエリヤを預言者として拒絶したエリヤの時代、その小さな糸、古代の教会時代にも注目してください。そのうちのある日、私はイスラエルにも7つの教会時代があり、これらと正確に類似していることをお見せするよていです。そして、彼らの教会時代、エリヤの時代、彼らは彼を拒否し、3年6ヶ月の間雨が降りませんでした。そして古代の預言者は、「空は真鍮のように見えた」と言いました。神を拒絶し、イザベルに耳を傾けた国々に対する神の裁きです。

103 真鍮はまた、犠牲が殺された祭壇、真鍮の祭壇での神の裁きを表しています。殺された…まさにその土台は真鍮であり、裁きでした。神は神の熾烈さのワインプレスを踏み、私たちの裁きを彼の上に下されました。黙示録19:15を見てください。ちょっと待ってください。彼が何をしたか見てみましょう。黙示録19:15、見つけられたらちょっと読んでみましょう。ええ、始めましょう…12節について見てみましょう：

その目は燃える炎であり、その頭には多くの冠があった。また、彼以外にはだれも知らない名がその身にしろされていた。

彼は血染めの衣をまとい、その名は「神の言」と呼ばれた。(さて、覚えておいてください、彼の名前は神の言葉ではありませんでした、彼の名前はそれと呼ばれていました。分かりますか?)…彼の名前は神の言葉と呼ばれていました。

そして、天の軍勢が、純白で、汚れのない麻布の衣を着て、白い馬に乗り、彼に従った。

その口からは、諸国民を打つために、鋭いつるぎが出ていた。彼は、鉄のつえをもって諸国民を治め、また、全能者なる神の激しい怒りの酒ぶねを踏む。

104 彼は何をしましたか？罪人であることに対する神の怒りが私たちにありました。そうですか？誰も自分を救うことはできませんでした。私たちにできることは何もありません。私たちは皆「見よ、わたしは不義のなかに生れました。わたしの母は罪のうちにわたしをみごもりました。」なのです。そして、彼は何をしましたか？彼は地球にやって来られました、ハレルヤ、酒樽を踏みました！全能の神のすべての怒りが彼に注がれました。「神の小羊よ、あなたがふさわしい方です。屠られた方だからです。」世の罪を彼に負わせ、神が私たちの罪を負われたので、神は彼の怒りの激しさを彼に注ぎました。「しかし彼はわれわれのとながのために傷つけられ、われわれの不義のために砕かれたのだ。彼はみずから懲らしめをうけて、われわれに平安を与え、その打たれた傷によって、われわれはいやされたのだ。」その人のような死に方をした人は今までもこれからもありません！彼は血と水が彼の体で分離するまで苦しみました。そして、彼の死の前に血の滴が彼の額から落ちました。

地のぶどうを刈り集め、神の激しい怒りの大きな酒ぶねに投げ込んだ。

105 いつの日か、それらの真鍮の正義の足(栄光!)、彼が裁判官として来るとき、彼は反キリストと彼のすべての敵を踏みにじるでしょう。ハレルヤ！彼は鉄の棒を手を持って地球を歩きます。アーメン！ああ、悔い改

める機会を得ている間、罪人の友よ、悔い改めなさい。それをただの小さな話で起こらないと考え置き去りにしてみてください。それは起こります!「それは私には起こり得なかったのです。」それはあなたに起こります!

真鍮の足、彼の敵を踏みにじる。なぜなら、彼は私たちの罪の代価を払うために苦しみ、神の猛烈な酒樽を踏みにじったからです。そして、私たちは、罪を犯し、貧しく、惨めな虫でありながら、小さな鼻を突き上げて、ある種の神秘的な本を読み、「神はいない」と考え、「このようなものはない、そして裁きは来ない」と言おうとします。彼はそれらの真鍮の足を取り、敵を打ち砕きます。彼は反キリストをかわします。彼はそれらの使徒教会を取って、永遠の向こうに投げ込み、どこかで燃える火の中に入れ、そこで彼女は焼き尽くされてしまいます。そして、彼は地上で、彼と彼の教会は永遠に君臨するでしょう。栄光!

106 「頭、羊毛のように白い」正義、経験、雄弁さ、十分、知恵。老人の白髪、知恵について話します。彼は何をしているかご存知なのです。彼は一彼は知恵の泉です。彼は経験の泉です。彼はすべての良いものの泉であり、したがって彼は人の子のようにこれで表され、この白い髪が垂れ下がっている服を着ていました。ダニエルは彼を何百年も、700年も見て、言いました。「彼は昔の古代人でした。そして、人の子のような人が権力を握り、この古代の時代と団結し、裁きが下されました。」

107 今、私はあなたに何かを尋ねただけです。私はあなたに生ぬるい教会について話しているのです。10人の処女が主に会いに出かけました。そのうちの5人は賢く、5人は愚かでした。私たちが今朝話したように、その接ぎ木された木。さて、彼らが神に会いに出かけたときのことを覚えておいてください…さて、見て下さい。聖書は「巻物は開かれた」と言っています。ダニエル7:9、「本は開かれました。」それは罪人の書です。「そして別の本が開かれました。」誰が彼と一緒に来ましたか?携挙からの教会。ああ!「彼に仕える者は千々、彼の前にはべる者は万々、」と彼の妻、花嫁。ああ、栄光!彼の妻は教会である彼と一緒に来ました。

裁きが下され、本が開かれました。そして、眠っている処女である別の本が開かれ、すべての人がその本から裁かれました。なぜそうしなかったのかを尋ねられますが、それではどうしますか?あなたは今よく知っています、あなたはよく知っています。あなたは以前にそれを知らなかったかもしれませんが、あなたは今は知っています。分かりますか?この義人がほとんど救われないなら、その罪人で不敬虔な人はどこに現れるのでしょうか?拒絶し、よりよく知りながらも、それを拒絶する人。彼らはどこに現わされますか?彼の足は真鍮のようで、神の裁き。

108 さて、見てみましょう。まもなく…ページの最後まで:

…羊毛のような髪、…そして彼の目は燃える炎の様でした。

その足は、炉で精錬されて光り輝くしんちゅうのようであり、声は大水のとどろきのようであつた。

「声は大水のとどろきのようであつた。」水は何を表していますか?それを書き留めたい場合は、黙示録17:15を開いてください。聖書には、「御使はまた、わたしに言った、「あなたの見た水、すなわち、淫婦のすわっている所は、あらゆる民族、群衆、国民、国語である。」と書かれていることがわかります。大丈夫、「声」。生命の海に漂う魂にとって、なんと恐ろしいことでしょう。大きな滝や滝の轟音を聞くために波の上を漂い、緩められた状態の彼を導く船頭はいないので。漂う魂にとってそれはなんと恐ろしいことでしょう。「多くの水の声。」彼の声とは何ですか?それは裁きです。聖霊を通して、そこに立っているあらゆる時代の人々に叫んだミニスターたちの声。大水のとどろきのような、激しい雷鳴のような声が、天から出るのを聞いた。教会のすべての時代に、聖霊のバプテスマ、イエスの御名によるバプテスマ、異言で話すこと、神の力、キリストの復活、再来、神の裁きを宣べ伝える、彼の手にある七つの星の声。人の子、多くの水のように見えるこの水から、多くの水の声が出ました。

109 あなたが集会に参加し、神と正しくなり、聖霊を受けるべきだと聞いたこと、そしてあなたが設定したその集会でその声が語られるのを聞くために漂う魂、そして神は説教し、それを拒否しました。大きな滝はあなたのすぐ下にあり、あなたを永遠の運命に連れて行く大きな大滝です。

多くの水の声、彼の4番目の人物。多くの水の声。栄光で録音されたとき、今夜の声が録音されたとき、どうしますか?あなたの声は録音されます。あなたの考えが記録されます。「人が心の中で考えるように、彼もそうです。」天国ではあなたの声があるよりも天国にある方が大きいことに気が付いてください…つまり、あなたの考えは、あなたの声があるよりも天国にある方が大きいのです。確かにそうです。神は心の考えと意図を知っています、彼はそれについてすべてを知っています。

彼はパリサイ人に言いました、「まむしの子らよ。あなたがたは悪い者であるのに、どうして良いことを語ることができようか。おおよそ、心からあふれることを、口が語るものである。？私を良き先生と呼びながら、また、私は知っています、私はあなたを直視し、あなたが偽善者であることがわかります。あなたはそれを本気で言うてはいないのです。」

ああ、あなたのとがめによって水は退き、あなたの雷の声によって水は逃げ去った。多くの教会時代が形成されるその日はどうなるでしょうか？

110 さて、私はあなたに何か他のことを聞きたいです。救われた人々に何かを言わせてください、これをあなたに言わせてください。

さて、あなたは魂を漂わせています、あなたはその大きな滝の向こうに漂っているかわいそうな漂流者です、注意してください。その時あなたのために救いが無いことを知っているとき、それは恐ろしいことになるでしょう。その時あなたは救われることができません、あなたはあなたの運命があなたの直前にあることを知っています。数分以内にわかると、声が「そのとき、わたしは彼らにはつきり、こう言おう、『あなたがたを全く知らない。悪魔と彼の天使のために準備された火の中に不法を働く者どもよ、行ってしまえ』』と言うのが聞こえます。あなたがこれから抜け出している間に、それらの集会のそれらの声の大きな咆哮を聞くと、あなたはそれを知るでしょう。ああ、なんて恐ろしいこと、なんて悪夢なのでしょう。皆さん、それをあなたに起こさないでください。悔い改めなさい、あなたが正しくなることができる間、今神と正しくなりなさい。

111 さて、私はあなたに何か他のことを聞きたいです。常緑樹の下に横になって、波打つ小川の音を聞くために錨を下ろしている人にとって、それ以上に甘いものはありますか？ああ！それが天国にある教会の舞台であり、神の声が優しく波打って彼らと話しているのです。それが何であるか分かりますか？それは罪人への非難であり、救われた人への祝福です。ボートを岩であるイエスキリストに安全に停泊させ、ただ横になって耳を傾ける男。どうすれば休むことができるのでしょうか。その休息に入りなさい。

水が流れている場所をどのように取得するのが好きか。私たちが釣りなどに行く場合、私は通常、水が波打つ場所を見つけようとします。なぜなら、それはただあなたを休ませるためです。あなたはそれが一晩中話しているのを聞きます。ああ、何と素晴らしい！

112 キリストの前で静かになるまで、そのような場所で本当に魂をキリストに留めることができるのは美しいことではありませんか？そして、彼の声があなたに話しかけるのを聞いてください。「私は主であつてあなたを癒すものである。私はあなたに永遠の命を与える主です。あなたを愛しています。私は天地が創られる前からあなたを知っていました。私はあなたの名前を本に書きました、あなたは私のものです。恐れるな、私である。恐れるな、私はあなたと共にいる。」それから私は歌います：

私は自分の魂を憩いの場に固定しました、
もう荒海を航海することはありません。
暴風雨は荒れ狂う嵐の深さを一掃するかもしれません。
しかし、イエスの内にいる私は永遠に安全です。

覚えておいてください、あなたに優しく話す声そのものが罪人を非難するでしょう。ノアを救ったまさに同じ洪水が罪人を破壊しました。意味がわかりますか？大いなる水の声。

113 「そのかしらと髪の手とは、雪のように白い羊毛に似て真白であり、目は燃える炎のようであった。その足は、炉で精錬されて光り輝くしんちゆうのようであり、声は大水のとどろきのようであった。」を今すぐ見てください。

その右手に七つの星を持ち、：…

「7つの星。」それでは、ここで20節を見ましょう。

あなたがわたしの右手に見た七つの星と、七つの金の燭台との奥義は、こうである。すなわち、七つの星は七つの教会の御使であり、七つの燭台は七つの教会である。(または7人の使者、7人のミニスター達なの)です。

彼はそれを彼のために解釈するので、間違いがないことは間違いありません。各教会時代の御使。ああ、それは美しいものでしょう、今週、私たちが歴史の向こうに戻って彼らに御使達を迎えに行き、彼らが持っていたまさにそのミニストリーを見るとき。彼らは同じ働きをしていました。その小さな教会ですべての

時代を通して、まったく同じです。

114 しばらく前に、誰かが言いました、「カトリック教会、「それは時代を超えてずっと立っていたので、それは本当の教会です」という良いことわざがあります。」

私は言いました。「それは、すべての政府とその背後にある他のすべてがあったとき、そしてそれがどのように立って嵐を振ったのか、それは謎ではありません。しかし、私にとっての謎は、その小さな、ちっぽけな少数派がどのようにして嵐を振ることができるかということです。嵐は砕かれ、ライオンに投げ込まれ、担架をつけて、食べて、燃やされました。彼らがそれをどのように生き残ったか。」それは神の手が彼らと共にあったことを示しています。それだけなのです。そして今日でも彼女の光はまだ燃えています。アーメン!はい!

115 さて、「私の右手にあった七つの星」。彼の右手には7つの星がありました。つまり、7つの時代の7人のミニスター達です。ああ、それは美しいです。どのように戻って、メッセージをエペソ教会にもたらしたミニスターを手に入れるか。そして、メッセージを持ってきて死ぬまでそれを持っていた牧師は、スメルナ教会、ペルガモ教会、テアテラ、そして時代を超えて、今もこの時代に至るまで続けました。光を保持して持ってきて、最初の元のようにそれを抑えて、彼を通して光を持ってきたミニスターたち。

「彼は彼らを右手に持っていました。」考えて!右手は、キリストが神の右手に置かれているということを正確に意味するわけではありません。神は霊であるからといって、神が右手を持っているという意味ではありません。しかし、キリストは権力の右腕でした。あなたの右腕である方、あなたに最も近い方があなたのそばに立っています。

116 そして、覚えておいてください、7つの星は彼の右手にありました。考えてみてください、彼らは彼らの現在の、彼からの彼らの光を引き出していました。彼らは完全に彼の右手で彼の支配下にありました。ああ!神のすべての真の僕と同じ方法です。開催…誰が彼らに危害を加えることができますか?誰が彼らに危害を加えることができますか?天使の一人が最初にそこに戻って泣いたように。御使いは「メッセンジャー」を意味することを覚えておいてください。週の後半に、これらのより深いことについて説明します。御使いは「メッセンジャー」を意味します。そして彼は言いました、「キリストにある神の愛から私たちを切り離すことができるのは何ですか?病気はできますか?危険はありますか?裸になることはできますか?剣はできますか?死ぬことはできますか?「私は説得されています」とパウロは言いました。「キリストにある神の愛から私たちを引き離すことはできない」と私たちは完全に神の右手に委ねられているからです。

誰かが言います「ホーリーローラー!ホーリーローラー!」それは彼らを少し気にしません。「あなたは宗教的な狂信者です!」彼らはそれを聞いていません。彼らは完全に屈服し、彼の右の力の腕から命を引き出し、彼の光を柔和さ、親切さ、優しさ、そして忍耐力に反映しています。しるし、不思議、そして奇跡。世界がそれを「魔術」と呼ぶようにしましょう。彼らが望むものは何でも、私たちが屈服し、彼の右手にあることを知っているのです、私たちに違いはありません。それは素晴らしいことではありませんか?何てこと!

117 さて、急いでみましょう。私たちはあなたを疲れさせたくないからです。「彼の右手には、7つの星があります。」

さて、彼の人の7番目で最後の表現:

…その口からは、諸国民を打つために、鋭いつるぎが出ていた。…

つまり、それは6番目です。

その口からは、諸国民を打つために、鋭いつるぎが出ていた。…

さて、大きな水の声、そして彼の口から…彼の右手には星がありました。

…その口からは、諸国民を打つために、鋭いつるぎが出ていた。…

さて、あなたは聖書の鋭い両刃の剣が何であるか知っていますか?分かるようにそれを見つけてみましょう。ヘブル人への手紙4:2を見てください。1、2ページ戻ってください。そうすればわかります。ヘブル人への手紙はここで黙示録のすぐ後ろにあります。ユダ書そしてヘブル人への手紙。さあ、今すごく近くなっています。または…ヘブル人への手紙、ヘブル人の第4章、ここですね。よし、ヘブル人への手紙の第4章の第12節:

というのは、神の言は生きていて、力があり、もろ刃のつるぎよりも鋭くて、精神と靈魂と、関節と骨髓とを切り離すまでに刺しとおして、心の思いと志とを見分けることができる。

118 そして、彼らはあなたを「読心術師」と呼びます。それは彼の教会で明らかにされた神の言葉です!どんな両刃の剣よりも鋭いのです。言いますが、私はたまたまそこにある何かを思いついた。ある聖句を書きだしたかどうかはわかりません…黙示録19章を開けます、ちよつと待って。これをもう一度理解しましょう、そうだと思います。私は多分…黙示録19章11節について:

またわたしが見ていると、天が開かれ、見よ、そこに白い馬がいた。それに乗っているかたは、「忠実で真実な者」と呼ばれ、義によってさばき、また、戦うかたである。…(ここに再び白くなります、裁き。)…(あなたはそれが誰であったか知っていますよね?大丈夫です。)

その目は燃える炎であり…(彼は誰でしたか?)…そして彼の頭に多くの冠があった。…(うーん。彼は今王国にやって来ました。)…そして彼は…そして—また、彼以外にはだれも知らない名がその身にしるされていた。

彼は血染めの衣をまとい、その名は「神の言」と呼ばれた。

彼の口から何が出ましたか?何が起こったのですか?白い馬の騎士。そして黙示録7章にも、いつ…私は8章を信じています。白い馬が…いや6章です。白い馬の騎士が出て行ったとき、彼は征服するために弓を与えられました。

119 そして剣が彼の口から出ました。彼は何でしたか?黙示録の白い騎士。剣に注目してください。「彼の口から鋭い両刃の剣が出ます」と御言葉。そして最後に、彼の言葉によって、それが神のすべての息子たちに明らかにされたとき、彼はこの鋭い剣によって、彼の言葉ですべての国を踏みしめるでしょう。ここで何が起こったのかを見てください。

彼の右手に七つの星を持ち、口からは、鋭いもろ刃のつるぎがつき出ており、顔は、強く照り輝く太陽のようであった。

「鋭い両刃の剣。」この人の口から何が出ていたのですか?神の言葉。鋭い両刃の剣です。それは何をしていましたか?心の思い、意図を見極めること。肉、肉、血液細胞よりもさらに深く、骨の中に、骨の骨髓の中に、そしてそれを超えて、心の思いや意図を見極めさせるのです。それが神の言葉がすることです。

120 「そしてみことばは肉体を取られ、私たちの間に宿られました。」そして今、みことばは彼の教会で肉体を取り、私たちの間に宿っておられます。彼の手には彼の御使いたちがいて仕えています。神は彼の教会に依存しています。神は、この福音の光を死にゆく異教徒に縛られた伝統的な世界にもたらすために、この時代の私たちに頼っておられます。神は私とあなたに重荷を負わせています。異教徒が知らないうちに死んだら、私たちに災いをもたらします。ああ、彼らは読み、書き、算術、そしていくつかの宗教的なパンフレットを持っていました、そして彼らはたった一つの集まりの改宗者しか作りませんでした。私は福音を意味します!福音はみことばだけではありません。パウロがそう言いました。パウロは、「福音はみことばだけで私たちに届いたのではなく、みことばが実現した」と言いました。聖霊によるみことばがみことばは、聖霊を得た心に植えられ、みことばが言われることを生み出します。そして、みことばは心の思いを見分けることができます!栄光!ああ、素晴らしい!ああ心の考えと意図の識別者である御言葉がそうします。

121 鋭い両刃の剣が彼の口から出て、異教徒を目覚めさせます。これらの日のいずれかで何かが起こらなければなりません。はい!神の言葉、彼の名前は神の言葉であり、その言葉は明らかにされました。見てください、イエスは「全世界に行きなさい」と言われました、マルコによる福音書16章、彼が教会時代に彼自身を明らかにするために戻る前に彼の最後の教会への敬礼。彼は教会に「全世界に出て行って、すべての創られた者に福音を宣べ伝える」ように命じました。なに?福音を宣べ伝えなさい。マルコ16章「すべての創られたものに福音を宣べ伝えなさい」。それは何ですか?言い換えれば、「聖霊の力を示す」必要がありました。

122 さて、「すべての創られたものに…」を見てくださいみことばを教えるだけではありません。彼は決して「みことばを教えに行きなさい」とは言いませんでした。彼は「福音を宣べ伝えに行きなさい」と言いました。みことばを教えるのではなく、福音を宣べ伝えなさい。「この福音を信じる者には、このようなしるしが伴う。すなわち、彼らはわたしの名で悪霊を追い出し、新しい言葉を語り、1へびをつかむであろう。また、毒を飲んでも、決して害を受けない。病人に手をおけば、いやされる」

「そして彼らは出て行った」と聖書は言いました、「至る所で説教しました。主は彼らと一緒に働き、次のしるしによってみことばを確認しました。」それが福音であり、示されている福音です。

これらのしるしはいくつ続くのでしょうか？世の終わりまで、すべての時代に。その光を持って降りてくる小さな少数派がいます。イエスが「恐れるな、小さな群れよ、御国を与えることはあなたの父の御心である」と言われたのも不思議ではありません。小さな群れ。常に少数派であり、多数派ではありません。

123 了解しました。もう1つ引用します。そして、私たちは20日を取ったので、ここでこの節を見てみましょう。さて、16章：

そして彼は右手に7つの星を持っていました：…

それでは、…と…を見てみましょう。彼の表情：

、口からは、鋭いもろ刃のつるぎがつき出ており、顔は、強く照り輝く太陽のようであった。

マタイ17章を見てみましょう。ここにいる間に、ここでそれを取得しましょう。ですから、私たちはそれを通過しているだけであり、それを受け取っている多くの人々は…またはそれを書き留めて、私たちが知ることができるように彼らにそれを読ませます。

マタイ17章 行きましょう：

…6日後、イエスはペテロ、ヤコブ、ヨハネを…高い山で離して連れて行きました、

ところが、彼らの目の前でイエスの姿が変り、その顔は日のように輝き、その衣は光のように白くなった。。

124 彼は変容した。彼は何をしましたか？彼自身を変容に移し、彼の次の日に渡した。さて、これのほんの数時間前に、イエスは次の章でこの引用をここに戻しました、「確かに私はあなたに言います、ある人はここに立っていると言います…」私が何を言おうとしているのか知っている人は何人いますか？「よく聞いておくれがよい、人の子が御国の力をもって来るのを見るまでは、死を味わわない者が、ここに立っている者の中にいる」。そうですか？そして、彼は3人の証人であるペテロ、ジェームス、ジョンを連れて行きました。旧約聖書では、ほとんどすべての言葉が3人の証人によって確立され、山に連れて行かれたからです。

最初に来るものに注意してください。ああ、私はここで止まることはできません、私はこれを手に入れなければなりません。見て！彼らが最初に見たものは何ですか？彼らはイエスを山に連れて行きました…あるいは彼は彼らを連れて行きました、そして彼は彼らの前で変容したのです、変容しました。彼の衣服はその力の真ん中で太陽のように輝き、モーセとエリヤに現れました。人の子は今どのような形でやって来ますか？そして最初に現れるのは、モーセとエリヤです。

125 さて、イエスが地球に戻る前に、気づいてください…さて、これは少し前のことですが、エリヤの霊は地球に戻り、子供たちの心を父親に戻します。聖書はそう言っています。イエスはここで彼を見ました、使徒たちはここで彼を見ました、人の子の来臨への命令は栄光を与えられました。彼は栄光を受けて戻ってきました。彼らが彼に会う前の最初のことは何でしたか？エリヤ。では、何？モーセ；イスラエルは向こうに戻ってきました、律法を守る者達。そして、栄光を受けた人の子。ハレルヤ！彼が来る順番が分かりますか？エリヤの霊、または最後の教会時代の証人。ほら、彼を現すために権力を握って来るのです。

126 イスラエルが国家となったその時、シナイ山に14万4千人のユダヤ人が集まりました。世界で最も古い国、世界で最も古い旗。彼ら自身の国、彼ら自身の旗、彼ら自身の軍隊、彼ら自身のお金、そして他のすべてを持っています。彼らは国家であるため、彼らは国家のリーグのメンバーの一人です。イエスは、すべてのことが成就されるまで、彼らは決して捨てられるべきではないと言われました。

教会が拒絶の時代を経て倒れたように、そのユダヤ人の集まりがどこでも迫害され、背を向けられ、尽きて捨てられたのは不思議ですが、イエスはこう言われました。「イチジクの木が芽を出しているのを見ると、その国が再び国に戻るとき、その時は間近に迫っています。確かに私はあなた方に言う、これらすべてのことが成就されるまで、この世代は過ぎ去らないであろう。」この引き…この人達は死を見ないのです。ヒトラーは彼らを殺そうとしました、ムツソリーニは彼らを殺そうとしました、スターリンは彼らを殺そうとしました、他のみんな、しかし彼らは決して傷つけられたり、地球から追放されたりすることはありません。アーメン！

モーセとエリヤが来るでしょう。ああ!あなたがたがそれを理解してくださっていることを望んでいます。

127 大丈夫、「太陽がその強さで輝いている」、彼の表情は変容し、変貌しました。さて、黙示録21:23で、あなたがそれを書き留めたいのなら、もう一つのことです。新しいエルサレムでは、21:23、彼は都にいる子羊であり、その光であり、輝いています。彼らは町に光を必要としなかったため、太陽は其中で昇ることはありません。なぜなら、町の真ん中にある子羊がその光となるからです。そして、救われた国々は子羊の光の中を歩きましょう!アーメン!彼は子羊の光です。ああ、あなたはそれについて幸せではありませんか?

それだけでなく、彼は来るべき時(ヨハネは主の日に彼を見た)、義の太陽でもあります。マラキに行きましょう。旧約聖書の最後の預言者、マラキ。マラキ書、第4章。

128 私の大切な妻がそこに戻ってきたことについて少し話をしました。私は結婚する前に彼女に厳しい時間を与えました、私は結婚した後それを埋め合わせようと思いました。そして、また結婚したいかどうかわからなかったため、彼女は全員と別れました。そして、私は彼女があまりにも良い女の子で、ただ去るにはできないと思いました。彼女の世話をしてくれる良い男と彼女と結婚させてください。そして、私はそれに値しないとさえ思っていました。とにかく、私は彼女に親切ではありません。それで彼女は皆引き裂かれ、何をすべきか分かりませんでした。これは何年も前、約20年前のことです。彼女はとても心が引き裂かれ、昼も夜も泣き始めました。そして、私は彼女から離れようとしていました。私が彼女を愛していなかったからではなく、彼女に時間をかけさせたくなかったからです。なぜなら、彼女に誰か、良い人を見つけさせたかったのです。彼女はあまりにも良い子なので、そのように私は彼女に行かせたかったのです…彼女と一緒に行くなどは。そして私—彼女は私を愛していると思いました、そして私は彼女を愛していることを知っていました。それで私は考えました「まあ、私はただ…私は他の女の子とデートして外に出て、私についての彼女の気分を害させるのです。」私は彼女を殺すのが好きでした、その後それがひどくひどく嫌いでした。彼女はすべて心が砕けてしまった。私は彼女に言いました、「あなたはとても良い女子です、だから私はそのようにあなたの時間を取りたくないのです。」

そして彼女は言いました、「しかし、私はあなたを愛しています、ビル、そしてそれが私が愛することができる唯一の人です。」「私はいつもあなたを愛してきました。」と言いました。

私は言いました。「私は一感謝しています。しかし、私は「あなたが知っている」と言いました、「私は隠者なのです」と言いました。私は言いました。「私は一隠者のように生きるだけです。ほら、私は結婚するつもりはまったくありません。」

129 そして、彼女はそれに完全に決めていた、ね、かわいそうな小さな人。そして彼女は小屋に出かけました。そして彼女はそこに出て、ひざまずいて言いました、「主よ、私は何をすべきかわかりません。私—あなたに背いたくないのですが、ビルが大好きで、どうしたらいいのかわかりません。主よ、あなたは私にほんの少しの慰めを与えてくれますか?少しだけ助けて頂けませんか?主よ、私はこれまで私の人生でこれをあなたに尋ねたことはありませんでした。二度とあなたに尋ねる必要がないことを願っています」と彼女は言いました。しかし、もしあなたが私を助けてくれるだけなら、この聖書を開かれるのです、そしてあなたは聖句を与えて下さい。あなたがそうしたと人々が言うのを聞いたことがあります。」そして彼女がそれを開いたとき、それはマラキ4章でした。

見よ、主の大いなる恐るべき日が来る前に、わたしは預言者エリヤをあなたがたにつかわす。

彼女は、「私はそこから立ち上がって、私たちが何よりも結婚することに満足していました」と言いました。分かりますか?

万軍の主は言われる、見よ、炉のように燃える日が来る。その時すべて高ぶる者と、悪を行う者とは、わらのようになる。その来る日は、彼らを焼き尽して、根も枝も残さない。

しかしわが名を恐れるあなたがたには、義の太陽がのぼり、その翼には、いやす力を備えている。

130 「彼の力で輝く太陽。」ああ!今夜私たちの真っ只中に輝く神の御子の力(強さ)。ここに裁判官として彼の7倍の人物の7つの金の燭台の真ん中に立っています。私たちのために苦しみ、死に、自分自身に神の裁きを下し、神の激しい怒りの酒ぶねを踏んだ方。罪人にとって、彼は恐ろしい大滝であり、あなたにとっては生命の海で魂を緩めることが出来るのです。そして教会に、優しい救い主が休息の中に錨を降ろし、あなた

がキリストに完全に満足して横たわり休んでいる間、泡立つ小川の音を聞きました。何という時でしょうか！彼の暖かい光線で私たちを照らしています。「恐れることはありません。今いまし、昔いまし、やがてきたるべき者であるのは私である。私は全能者である、私をおいて他には誰もいない。わたしはアルパであり、オメガである。命の水の泉の源泉を彼に自由に与えます。」ああ、それはなんとという約束で、なんとという愛の表現なのでしょう。そして、光を必要としない街の真ん中にある子羊、そして彼は彼の翼に癒しを持った義の太陽です。

彼は谷のユリ、明るく輝く明けの明星、
彼は私の魂にとって一万倍も最も美しい方です。
悲しみの中で彼は私の慰めであり、困っているとき彼は私の避けどころ、
彼は私に彼がすべての世話をなさると言われます。ハレルヤ！
彼は谷のユリ、明るく輝く明けの明星、
彼は私の魂には一万倍以上に最も美しい方。

131 はい！ああ、その素晴らしい明けの明星が輝きを放ち、その日が来るのを歓迎し、「日が明けようとしている、御子が近づいている」と言って、彼は他のすべての星の後ろから身を引いています（ああ、素晴らしい。）彼の翼に癒しを持って。

さて、メッセージに戻りましょう。そして、明日の夜の準備のために、今そろそろ終わりにしようとしています。時間は9時あと15分なので、誰にもあまりにも長くどとまらせたくないのです、ここにいることはできます。

132 大丈夫、彼の翼に癒しをもたらす義の太陽。さて、彼の表情。彼は裁判官、または彼が主の日に終わったことを示すための別の事でした。あなたはそれを信じますか？彼は主の日に行き、主を裁判官として見ました。司祭としてではなく、王としてではなく、裁判官として。彼は裁判官です。信じられませんか？聖書は彼が裁判官だと言っています。そしてここで彼はすべて裁判官の格好をして、彼がしたことを示しました。彼が何であったか：彼が罪人にとって何であったか、彼がクリスチャンにとって何であったか。そして、ここで彼は今、大きな水の声と共に立っています、そして彼の表情はその強さで輝く太陽のようでした。

133 さて、結果は16節です。「そして…」いいえ、ごめんなさい、17節です。

そしてわたしが彼を見たとき、その足もとに倒れて死人のようになった。…

凄い！そのような幻を見て、預言者はもはや我慢できませんでした、彼はただ一彼はちょうど彼の力を奪いました、そして彼は死んだように彼の足元ですぐに倒れました。今見てください：

…すると、彼は右手をわたしの上において言った、「恐れるな。わたしは初めであり、終りであり、：

ああ、素晴らしい！預言者ではありません、神！「わたしは初めであり、終りであり、。私は黙示録の初めであり、その黙示の終わりなのです。また、生きている者である。わたしは死んだことはあるが、見よ、世々限りなく生きている者である。」見てみましょう：

私は…私は…

…すると、彼は右手をわたしの上において言った、「恐れるな。わたしは初めであり、終りであり、：

また、生きている者である。わたしは死んだことはあるが、見よ、世々限りなく生きている者である。（そして今、その時、彼は叫んだ）そして、死と黄泉とのかぎを持っている。

134 さあ、怖がらないでください。なぜ私たちは恐れるのでしょうか？なぜ教会は彼の…彼の言葉を考え続けることができないのでしょうか？それでは終わりにするので、ここでちょっと止めましょう。なぜこの教会は恐れることができるのでしょうか？彼が私たちの前に現れなかったと彼が約束したことは何ですか？なぜあなたは罰や今後を恐れるのですか？「恐れるな！私は彼であり、彼であった、また来るべきものも私である。私が初めで終りなのです。私はここに地獄と死の鍵を持っています。」なぜ？「私はあなたのために地獄と死の両方を克服し、征服しました（それは重大であり、苦しみでもあります。死そのもの、苦しみそのものです）。私はそれをすべて克服しました。私は地獄、死、墓を克服したのです。」彼が地上にいたとき、彼は唯一偉大な…だった…

135 多くの男性が征服しようとしています。ご存知でしたか？ナポレオンは世界を征服するために出かけて

行ったのです、彼が33歳の時の事でした。17歳から25歳のとき、ナポレオンは禁止論者でした。彼は飲酒などを信じていませんでした。彼はフランスに行きました。彼はフランス人ではありませんでした、彼はある島の出身でした、彼はそれが好きではなかった、フランスが好きではなかった、フランスとさえ行くためにそこに行きました。しかし、彼は征服されました。そして彼は出て行ってフランスを征服し、彼らをフランス人として連れて世界を征服しました。そして、33歳の時、征服する人が誰もいなかった、彼は腰を下ろして泣き、アルコール依存症で死にました。敗北した彼は、自分自身を征服することすらできませんでした。分かりますか？そして、ウォータールーで彼の大失敗に出会い、彼はウォータールーで彼の終わりに会いました。私たちがその土地にいたとき、私はそこに行って、そこにある遺物や物の古い古代の印を見てきました。さて、私たちはその征服者を連れて行きます、彼は若い男として始めました、そして彼は征服するために間違った側を取りました、そして彼は恥ずべきことで死にました。

136 しかし、別の若者がある時、世にやって来ました。彼は33歳で死にました、征服できるすべてのものを征服しました。彼が地上にいたとき、彼は情熱、プライドを征服し、病気を征服し、悪魔を征服しました。彼が死んだとき、彼は死を征服しました。彼が起きたとき、彼は地獄を征服しました。彼は上って行き、人類に敵対するすべてを征服しました、それは神の酒樽を踏みつけ、死、地獄、墓、病気、公式さ、その他すべてを征服し、そしてそれをすべて克服し、そして3日目に蘇りましたそして上のすべての大気を征服し、神と人間の霧を切り、天と地をつなぎました。栄光! ああ、素晴らしい! フー!

彼はベールを2つに分けて借りているので、そこに彼は強大な征服者として立っています。死と地獄の両方の鍵が私の側にある。「恐れるな」。彼に右手(彼の力)を置き、彼の右手の力によって彼を持ち上げて言った、「恐れるな、私はあるものであり、あったものであり、来るべきものである。私が初めであり終わりである。また、生きている者である。わたしは死んだことはあるが、見よ、世々限りなく生きている者である。アーメン!」ああ!

見よ! 強大なる征服者を見よ、
見よ! 明白な視界で彼を見よ、
そこに彼は立っています、強力な征服者、
彼はベールを2つに分けて借りているので。

137 アーメン! エデンの庭のようにつながっているように、人間からすべての障害物を切り取ります。さて、人…私はそれを窒息させるつもりでしたが、私はそれを言うつもりです。人は全能です。あなたはそれを信じていませんが、彼は信じています。完全に神に委ねられた人は全能です。マルコ11:23で、彼は言われませんでしたか。「その言ったことは必ず成ると、心に疑わないで信じるなら、そのとおりに成るであろう。あなたはあなたが言ったことを持つことができますか?」

2人の全能者が会おうとどうなりますか? 神と人間と一緒に来るとき、2つの全能者、何か揺さぶられなければなりません。いくつか…神の全能の創造力であなたが言うことは何でも、神がそれを約束されたことを知っていて、神が御言葉でそれを言ったなら、それは向こうに出て物事を通過させる力を生み出します。2人の全能者が会ったので、彼らはまるで彼らがそうであるかのように。そこに彼は立っておられるのです! ああ、彼は素晴らしいではありませんか!

138 もっと良いものがあるかどうか見てみましょう。18節、今は19節。ヨハネ; 彼が彼の顔を見たとき何が起こったのですか? 結果は? 彼は足元に倒れました。彼はもはや立っていらなくなり、彼の人間の命は奪われ、彼は立ち続けられなくなったのでした。彼は征服者でした、彼はすでに征服していました。

今、彼は命令を与え、それから私たちはこの章、この19節で終わらせ始めます:

そこで、あなたの見たこと、現在のこと、今後起ろうとすることを、書きとめなさい。

私たちは20節を取りました:

あなたがわたしの右手に見た七つの星と、七つの金の燭台との奥義は、こうである。すなわち、七つの星は七つの教会の御使であり、七つの燭台は七つの教会である。

139 ああ! 息をのむようですね、友よ。彼が至高の中に立っているのを見てください…彼の神の至高。彼は裁判官、司祭、王、ワシ、子羊、ライオン、アルパ、オメガ、父、御子、聖霊です。過去の彼、今、そして来るべき方です。神の激しい怒りの大きな酒ぶねを踏み投げ込み、神が十字架で言われるまで、すべてを喜ばせました…彼が蘇られたとき、彼は「終わった!」と言われました。神を喜ばせたので、彼を去った御霊がイースターの朝に戻ってきて、彼を迎えに行き、私たちの義化のために再び彼をよみがえらせました。

そこでヨハネは見上げて、真鍮の足で立っている彼を見ました。炎のような目が地球中を行ったり来たりしています。ダニエルはその700年前に彼を見て、同じ立場で、同じ種類で、同じ人がそこに立っていて、古代の人であり、彼と一緒に加わった人の子のような人であり、すべての裁きは彼に委ねられて立っていました白い御座の裁きで。

これらのことを見て、私たちはどんな人になるべきなのでしょう、友の皆さん？神の祝福が皆さんにありますように私の祈りです。わかりますか？あなたは彼を愛していますか？あなたは彼を信じますか？あなたは彼にあなたの魂を固定しましたか？

140 ちょっとの間、頭を下げて祈りましょう。

ただ静かにそして静かに、私たちは静かに歌うつもりなので、私は休息の天国に私の魂を固定しました。魂。「私は決して私の魂をさざめく大滝に送るようにと聞くことはないしかしそれは私の魂に優しい平安を語るであろう」静かに今、敬虔にしてください、みんな。

私は自分の魂を休息の天国に固定しました、

もう荒海を航海することはありません。

暴風雨が荒れ狂う嵐のように深く吹き荒れるかもしれません。

イエスにおいて、私は永遠に安全です。

私は自分の魂を休息の避けどころに固定しました、

もう荒海を航海することはありません。

暴風雨が荒れ狂う嵐のように深く吹き荒れるかもしれない。

イエスにおいて、私は永遠に安全です。

私を照らしてください、(主よ、栄光の光線を光らせて下さい)主よ、私を照らしてください、

灯台からの光を私に照らしてください。

ああ、照らしてください、主よ、照らしてください(手を彼に向けてあげましょう)。

灯台からの光を照らしてください。

イエスのようになるために(はい、主よ。)イエスのようになるために、

地上で私は彼のようになりたいと願っています。

地球から栄光への人生の旅を通して、

私は彼のようになりたいだけです。

[ブラナム兄弟がコーラスをハミングし始める一編集]

…驚くべき素晴らしき救い主よ、

地上で私は彼のようになりたいと願っています。

地球から栄光への人生の旅を通して、

141 彼のご臨在を反映して、彼の命をあなたの中に生きさせたいですか？もしあなたがそうするならば、そしてあなたがまだそれを持っていないなら、あなたは祈りのために立つてもらえますか？祈りの中で覚えてもらいたい人達。神の祝福がありますように。

ベツレヘムの飼い葉桶から…(今立っているだけで、一緒にいるだけで…)…見知らぬ人が出てきました(あなたは世界にとって見知らぬ人になるでしょう)。

地上で私は彼のようになりたいと願っています。

地上で私は彼のようになりたいと願っています。

地球から栄光への人生の旅を通して、

私は彼のようになりたいだけです。

ただイエスのようになり、イエスのように…(それが私の望みです。)

地上で、私はただ彼のようになりたいと願っています。

地球から栄光への人生の旅を通して、

私は彼のようになりたいだけです。

[ブラナム兄弟がコーラスをハミングし始める一編集]

…へりくだり、謙虚にそしてへりくだり。

142 さて、天のお父様、彼らの足元に立つてあなたを受け入れたいと願う人がたくさんいます。彼らは、人生の流れの中で、どこに向かっているのかわからず、このように漂うことにうんざりしています。そして多分日が暮れる前に心臓の鼓動が止まり、それから大きな大滝の轟音が彼らの前に漂う魂が落ちることを知っています。彼らは彼ら自身のようにであり、世のようでしたが、彼らは今あなたのようになりたいのです、主よ。あなた

が彼らの心と彼らの心の意図を知っているので、あなたの王国に彼らを受け入れてください、彼らはあなたのものです、父よ。そして、あなたはそれをそのように書き、あなた自身の唇でそれを言いました、「わたしの言葉を聞き、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠のいのちを持っている」。あなたはまた、「主よ、この書の預言の言葉を読む者と聞く者は幸いです。時が来ているからです」と言われました。彼らは時が近づいていることに気づいています。主よ、彼らはもはや漂うことができません。主よ、命綱を投げて、あなた自身の中に引き込んでください。彼らがイエス・キリストの光を反映して、この夜から出て行きますように。私は彼らをイエス・キリストの御名によって父なる神であるあなたに委ねます。彼らがここの教会でバプテスマを受けて謙虚に主に従いますように。彼らが残りの日々イエスのようになることができるように、彼らの人生に聖霊を身につけられますように。彼の名前でお願いします。

ただイエスのようになるために…のようになるために

143 それらの人々の近くに立っている、または近くに座っているあなた方の何人か、つまりクリスチャンは、手を伸ばして彼らの手を握って握手をします。彼らに手を置いて、「あなたの魂のために神を褒め称えよ」。私たちの祭壇はすべてここで子供や物でいっぱいです。彼らをここに連れて来ることは出来ません。

地球から栄光への人生の旅を通して、

私は彼のようにになりたいだけです。

私を照らして、ああ、私を輝かせて、

灯台からの光を私に照らしてください。

ああ、私を照らしてください、主よ、私を照らしてください、

灯台からの光を私に照らしてください。

144 本当に気分がいいですか？気分が良くありませんか？あなたがクリスチャンであることに満足していませんか？今、あなたの近くにいる誰かと握手してください。賛美歌を歌う間、私たちは光の中を歩きます。この美しい光、主イエス・キリストの光が肉体の内に現れます。

私たちは光の中を歩きます、そのような美しい光、

憐れみの露が明るいところに来てください。

昼も夜も私たちの周りを照らし、

イエス、世の光。

皆さん、歌ってください。

私たちはこの光の中を歩きます、それは美しい光です、露のしずく、憐れみの明る
いところに来てください。

昼も夜も私たちの周りを照らし、

イエス、世の光。

さあ来て、あなた方光の聖徒みんなが宣言するのです、

イエス、世の光。

その後、天国の鐘が鳴ります、

おお、イエス、世の光。

今すぐ手を挙げてください：

この光、美しい光の中を歩きます、

憐れみの露が明るいところに来てください。

昼も夜も私たちの周りを照らし、

イエス、世の光。

私たちはこの光の中を歩き続けます、それはとても美しい光です、

それは憐れみの露が明るく輝くところに来ます。

昼も夜も、私たちの周りを輝かせてください。

イエス、彼は世の光です。

この光(福音の光)、美しい光の中を歩きます

憐れみの露が明るいところに来る。

昼も夜も私たちの周りを照らし、

イエス、世の光。

145 初めに戻って、聖霊が教会に降りかかったペンテコステで。メッセージがスメルナに伝わりました。そこには、神の偉大な聖人であるイレナエウスが立っていて、異言で話し、神の力、死者をよみがえらせ、病人を癒し、彼は光の中を歩いていました。彼の後に、偉大で強力な神の聖人、コルンバがやって来ました。他の偉

大な聖徒の多くは、メッセージを詰め込み、光の中を歩き、福音の光、ペンテコステの日に輝いたのと同じ光です。キリストは彼の民の真ん中に立っていました、そして彼らはその熱の真ん中で太陽のように彼の輝きを反映する7本の金色の燭台です。

ここで、私たちは1961年に生きています：

私たちはこの光の中を歩いています、それはとても美しい光です、
それは憐れみの露が明るいところに来ます。
ああ、昼も夜も私たちの周りを輝かせて
おお、イエス、世の光。

立ちましょう：

私たちはこの光の中を歩き続けます、それはとても美しい光です、
それは憐れみの露が明るいところに来ます。
昼も夜も私たちの周りを照らし、
イエス、世の光。

あなたは彼を愛していますか？

私は彼を愛しています、私は彼を愛しています、
彼が初めに私を愛してくれたから(ただそれだけ)、
そして私の救いを買って下さった
カルバリーの木の上で。

146 二度と世の事に目を向けないでください。私は世に死んでいて、世は私にとって死んでいるのです。私は聖霊に導かれてキリストの中を歩くだけです。彼が私を愛し、彼の祝福を私に照らし、彼の王国への交わりの右手を与えてくれるので、私は彼を愛しています。今、私たちは神の息子と娘であり、私たちが最後にどうなるかはまだ現れていません。しかし、私たちは彼自身の栄光の体のような体を持つことを知っています。なぜなら、私たちは彼を彼のあるようにみるからです。

そして、美しい光である光の中を歩きます。
それは憐れみの露が明るいところに来ます。
昼も夜も私たちの周りを照らし、
イエス、世の光。

147 彼を愛していますか？メッセージが途切れてすべてが終わった後、私は人々が賛美歌に入り、礼拝し、御霊の中で歌うのを聞くのが好きです。古き良き歌ほどきれいなものはありません。そうです。私は古き良き聖霊降臨されている歌が大好きです。彼らがきしむ音がして顔が青くなるまで保持し、彼らが何を歌っているのかわからない、過度に訓練された声ではありません。チューンを取り切れなかった人が好きですが、それでも彼は聖霊降臨の祝福を受けており、今彼はそれについて歌っています。ああ、なんて、十字架のそれらのメロディアスな歌はなんて栄光に満ちていることでしょう！ああ、なんて素晴らしい！

148 さて解散のための歌：

イエスの御名を連れて行ってください、
悲しみと嘆きの子。
それはあなたに喜びと慰めを与えるでしょう、
あなたの行くところどこにでも連れて行くのです。

明日の夜7時、7時ちょうどに、礼拝が始まります。

イエスの御名に頭を垂れて
彼の足元にひれ伏し、
天国の王の王、私たちは彼を冠をかぶせるのです、
私たちの旅が完了したとき。

さて、みんなで歌いましょう：

イエスの御名をいつも連れて行ってください、
悲しみと嘆きの子。
それはあなたに喜びと慰めを与えるでしょう、
ああ、どこに行くにせよ連れて行くのです。
尊い名、なんて優しい！

地の希望と天の喜び。
尊い名、なんて優しい! (なんて優しい!)
地の希望と天の喜び。

149 さて、今夜はそれを終わりました。…今、私に「朝の礼拝はありますか?」と尋ねられました。いいえ、明日はありません。明日はゆっくり休んでください。多分明日の夜、そのメッセージを引き継ぐことができないので、翌日それを引き継ぎます。このメッセージを終えられないときはいつでも、翌日に引き継いでいます。しかし、私たちはこのセットを手に入れました。あなたはすでに教会時代にいると信じています。違いましたか?大丈夫です。

静かに歌いながら頭を下げましょう。

イエスの御名によって頭を垂れて(すべての舌がそれを告白しなければならない)。

彼の足元にひれ伏し、

天の王の王、私たちは彼に冠を、

私たちの旅が終わったとき

尊い名、なんて優しい!

地の希望と天の喜び。

尊い名、オーなんて優しい!(なんて優しい!)

地の希望と天の喜び。



www.messagehub.info

伝道者

ウィリアム・マリオン・ブランナム

"...第七の御使いが吹き鳴らそうとしているラッパの音が響くその日には..." 黙示録 10:7